

令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	三保草薙線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	折戸車庫	草薙団地・県立大学前	折戸車庫		
系統キロ程 (km)	24.8	輸送量 (人/日)	40.4		
平均乗車密度 (人/便)	4.4	運行回数 (回/日)	9.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡県立大学、東海大学、東海大学翔洋高校、清水三保第二小学校、清水海上技術短期大学校、清水南高校、清水駒越小学校、清水第四中学校、清水船越小学校、清水有度第一小学校、清水第七中学校			
	病院	市立清水病院			
	商業施設	ベッドルーム清水、イオン清水店			
	その他	日本平運動公園、JR草薙駅、静岡鉄道狐ヶ崎駅、御門台駅、草薙スポーツ広場			
収支率 (%) (収益/費用)	46.2		乗車人員 (人)	118,580	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 5	名称	拠点：JR草薙駅南口、忠霊塔 バス停：静岡市立清水病院、折戸車庫、県立大学入口、狐ヶ崎駅前、龍華寺		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	6.7				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市バス路線維持費補助金により、本線の欠損額を全額補填 ・市内転入者へのバス路線図の個別配架、市窓口等へバス路線図の配架 ・市ホームページに路線図及び時刻表のリンクを設定 ・台風等の災害時に運行状況を市ホームページにアップ ・ノンステップバス、燃料電池バスの導入に対する補助制度 ・停留所への上屋、ベンチ等の整備に対する補助制度 ・事業者との連携による企画乗車券の販売 ・バス利用促進のイベントの企画 ・2種免許を持った市職員（退職予定者）に対してバス運転手募集のチラシを配架 				



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	五十海大住線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	清里	西焼津駅	焼津市立病院		
系統キロ程（km）	12.4	輸送量（人/日）	26.7		
平均乗車密度（人/便）	3.0	運行回数（回/日）	8.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡福祉大学、大富小学校・大富中学校、豊田小学校、焼津中央高校、藤枝西高校、西益津小学校・西益津中学校、藤枝北高校、藤枝東高校、藤枝小学校、藤岡小学校			
	病院	焼津市立総合病院			
	商業施設	イオン焼津店			
	その他	JR西焼津駅、焼津警察署、焼津市総合体育館			
収支率（%） （収益/費用）	40.4		乗車人員（人）	83,974	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停3	名称	拠点：JR西焼津駅南口、焼津市立病院前 バス停：藤枝大手、東名焼津西、大富		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	42.1				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 ・市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 ・欠損額を沿線市町で補助 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスマップ時刻表の配布 ・高齢者や運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 ・高齢者等を対象とした出前講座やイベントを実施 				



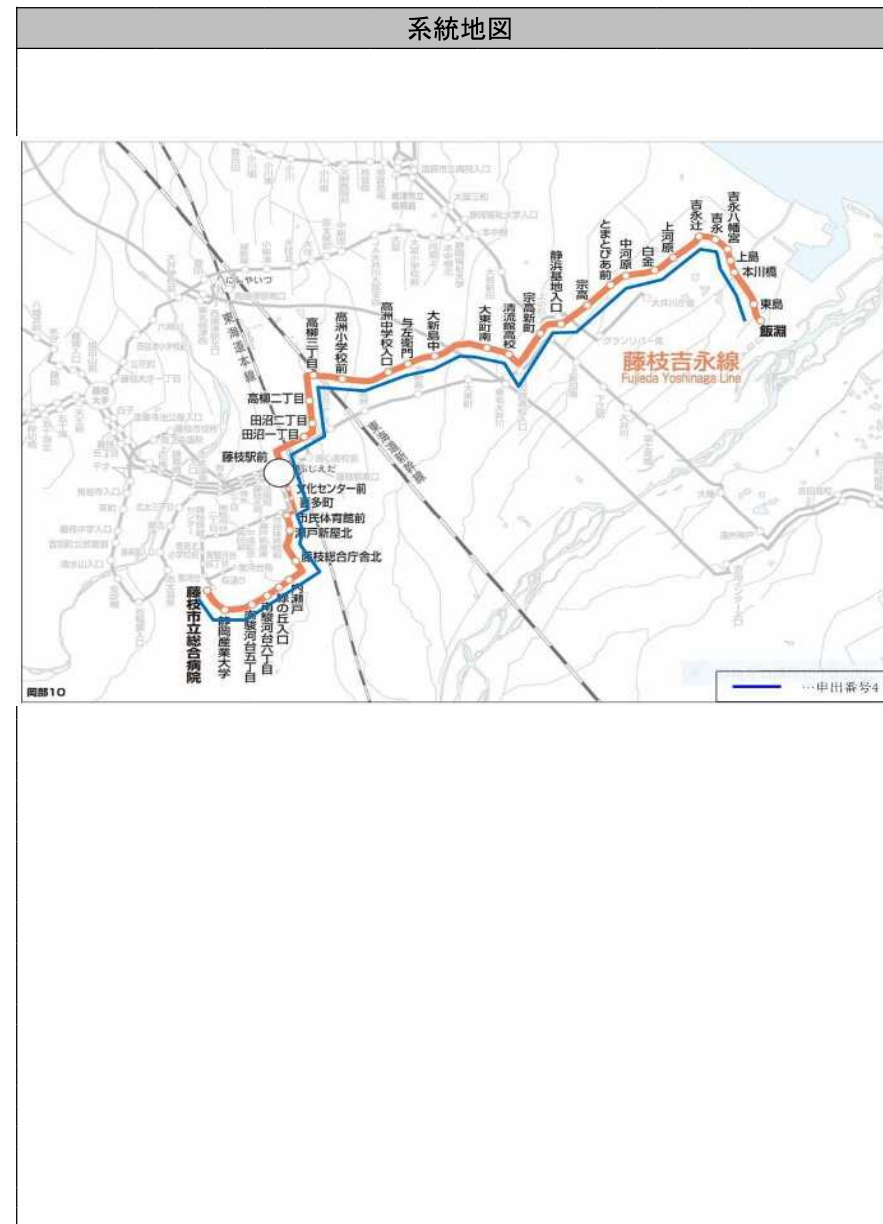
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	焼津岡部線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	焼津駅前	-	岡部営業所		
系統キロ程 (km)	7.2	輸送量 (人/日)	54.0		
平均乗車密度 (人/便)	3.0	運行回数 (回/日)	18.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	焼津高校、焼津東小学校、東益津小学校、東益津中学校、岡部小学校			
	病院				
	商業施設	J A 大井川岡部支店			
	その他	JR焼津駅、関方社会体育広場、藤枝市岡部支所			
収支率 (%) (収益/費用)	46.2		乗車人員 (人)	85,725	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 3	名称	拠点: JR焼津駅 バス停: 藤枝市岡部支所前、岡部小学校、坂本		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	64.7				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入 (2013年3月より) ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善 (デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減 (車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町の サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 ・市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 ・欠損額を沿線市町で補助 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスマップ時刻表の配布 ・高齢者や運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 ・高齢者等を対象とした出前講座やイベントを実施 				



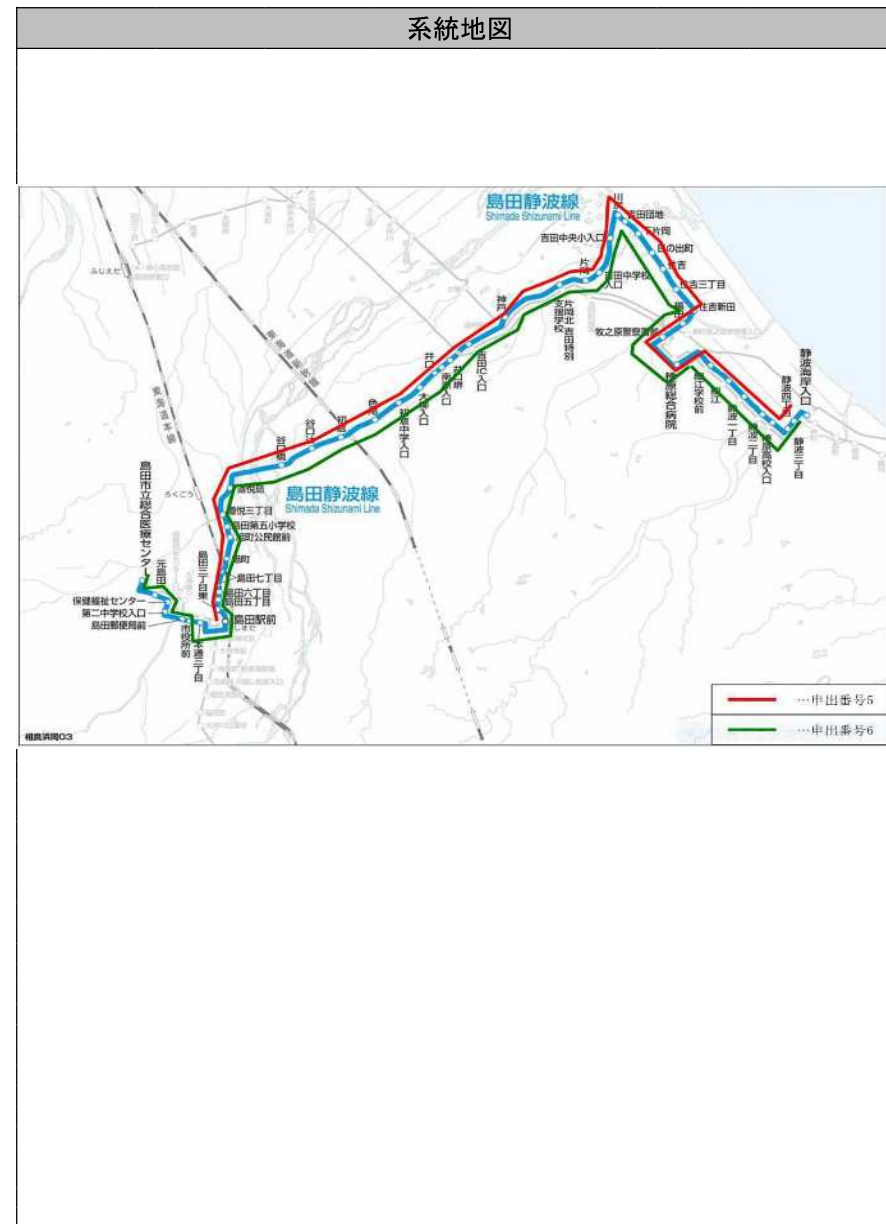
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	藤枝吉永線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	藤枝市立総合病院	高洲小学校	飯淵		
系統キロ程 (km)	14.7	輸送量 (人/日)	45.3		
平均乗車密度 (人/便)	4.2	運行回数 (回/日)	10.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	大井川南小学校、大井川東小学校、清流館高校、高洲小学校・高洲中学校、藤枝順心高校、青島小学校、静岡産業大学			
	病院	藤枝市立総合病院			
	商業施設	BiVi藤枝			
	その他	JR藤枝駅、大井川福祉センター、焼津市大井川庁舎、大井川図書館、県藤枝総合庁舎			
収支率 (%) (収益/費用)	50.5	乗車人員 (人)	140,379		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 4	名称	拠点：JR藤枝駅前、藤枝市立総合病院 バス停：飯淵、吉永辻、宗高新町、市民体育館前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	30.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 ・市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 ・欠損額を沿線市町で補助 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスマップ時刻表の配布 ・高齢者や運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 ・高齢者等を対象とした出前講座やイベントを実施 				



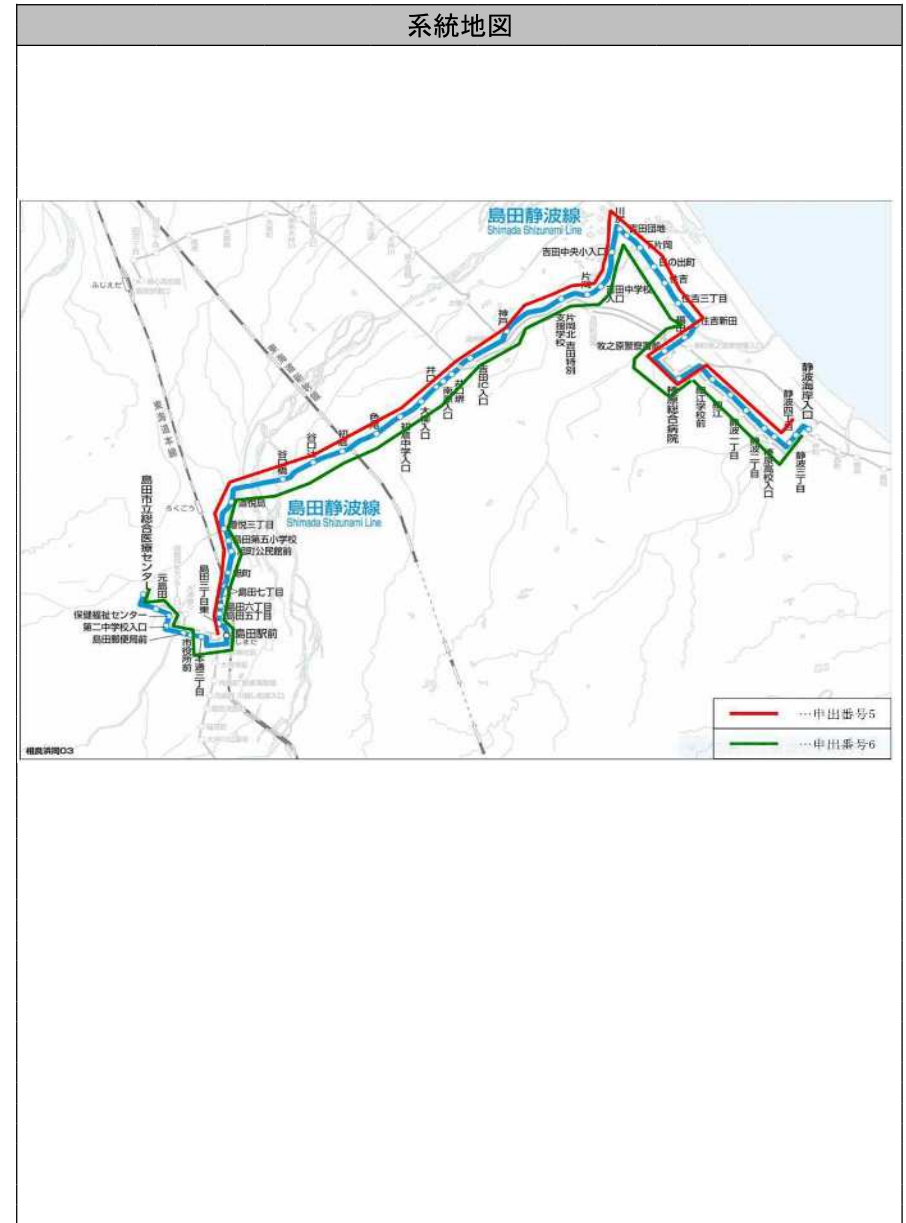
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	島田静波線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	島田駅	-	静波海岸入口		
系統キロ程 (km)	20.4	輸送量 (人/日)	23.1		
平均乗車密度 (人/便)	3.5	運行回数 (回/日)	6.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	川崎小学校、榛原高校、細江小学校、住吉小学校、中央小学校、吉田中学校、吉田特別支援学校、自強小学校、倉橋学園キラリ高校、初倉小・中学校、初倉南小学校、島田商業高校、島田第五小学校			
	病院	榛原総合病院			
	商業施設	アピタ島田店			
	その他	牧之原市役所、牧之原警察署、吉田町役場、JR島田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	37.3		乗車人員 (人)	50,814	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停3	名称	拠点：JR島田駅、静波海岸入口、榛原総合病院 バス停：吉田IC入口、井口堺、色尾		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	62.7				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・公式X（旧ツイッター）にて、バス運行に関する即時性のある情報を発信し、市ホームページ、市公式LINEアカウントからでも、Xの情報が閲覧できるよう設定 ・バスマップの中に、民間路線の路線図等を掲載 ・欠損額を沿線市町で補助 ・職員に対するバス路線利用促進 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・役場窓口へのバス時刻表の配架 ・町ホームページから運賃・経路検索ホームページへのリンク 				



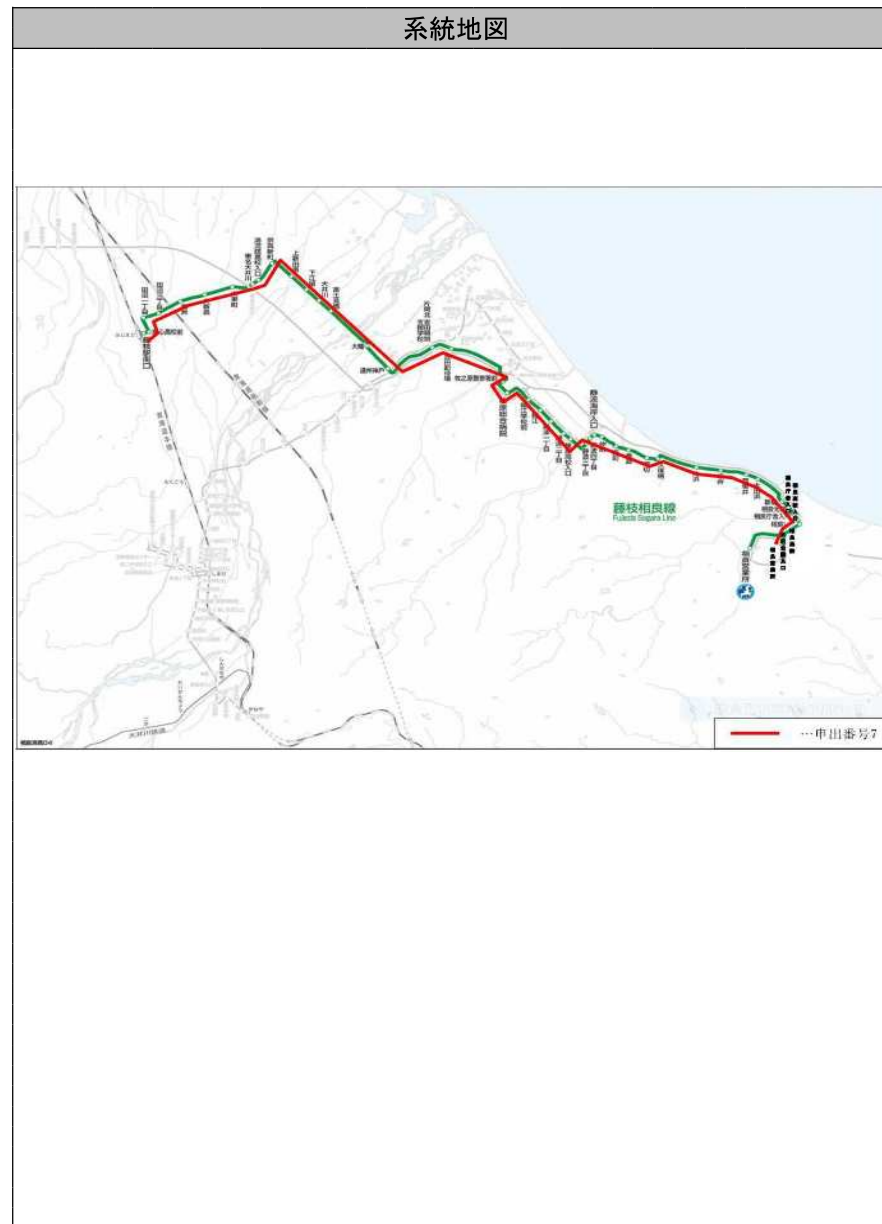
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	島田静波線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	島田市立総合医療センター	島田駅前	静波海岸入口		
系統キロ程 (km)	22.7	輸送量 (人/日)	26.6		
平均乗車密度 (人/便)	3.7	運行回数 (回/日)	7.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	川崎小学校、榎原高校、細江小学校、住吉小学校、中央小学校、吉田中学校、吉田特別支援学校、自衛小学校、倉橋学園キリスト高校、初倉小学校、初倉南小学校、島田商業高校、島田第五小学校、島田第二小学校、島田第二中学校、島田第四小学校、島田市立看護専門学校			
	病院	榎原総合病院、島田市立総合医療センター			
	商業施設	アピタ島田店			
	その他	牧之原市役所、牧之原警察署、吉田町役場、JR島田駅、島田年金事務所、静岡家裁出張所			
収支率 (%) (収益/費用)	38.3		乗車人員 (人)	78,650	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停5	名称	拠点：JR島田駅、島田市立総合医療センター、静波海岸入口、榎原総合病院、 バス停：吉田IC入口、井口堺、色尾、本通三丁目、保健福祉センター		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	54.1				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・公式X（旧ツイッター）にて、バス運行に関する即時性のある情報を発信し、市ホームページ、市公式LINEアカウントからでも、Xの情報が閲覧できるよう設定 ・バスマップの中に、民間路線の路線図等を掲載 ・欠損額を沿線市町で補助 ・職員に対するバス路線利用促進 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・役場窓口へのバス時刻表の配架 ・町ホームページから運賃・経路検索ホームページへのリンク 				



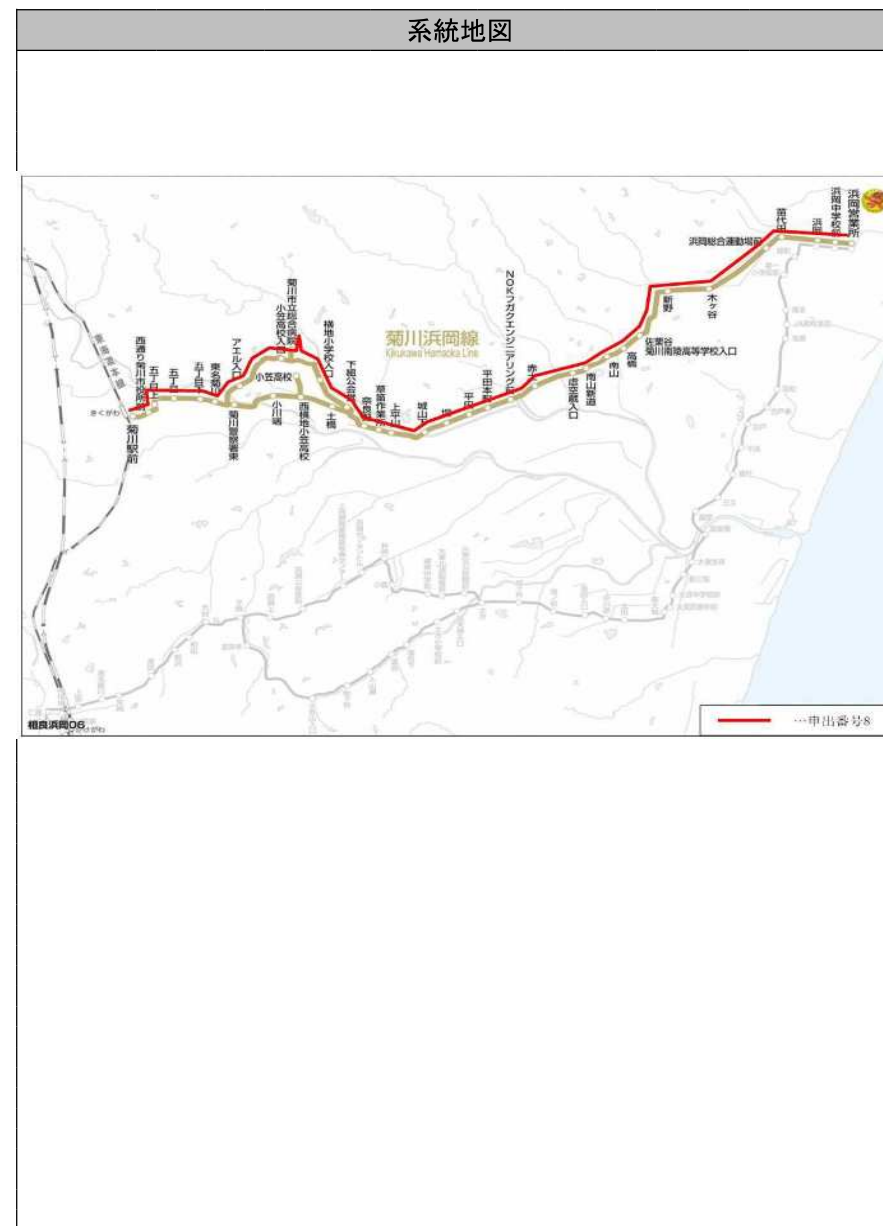
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	藤枝相良線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所		
系統キロ程 (km)	26.6	輸送量 (人/日)	55.4		
平均乗車密度 (人/便)	4.2	運行回数 (回/日)	13.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	相良小学校、相良中学校、相良高校、川崎小学校、榛原高校、細江小学校、吉田中学校、吉田特別支援学校、自誠小学校、倉橋学園キリコ高校、清流館高校、高洲南小学校、藤枝順心高校			
	病院	榛原総合病院			
	商業施設	BiVi藤枝			
	その他	牧之原市役所相良庁舎、牧之原市役所榛原庁舎、牧之原健康福祉センター、牧之原警察署、吉田町役場、藤枝消防署南分署、県立武道館、JR藤枝駅			
収支率 (%) (収益/費用)	42.1		乗車人員 (人)	169,492	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停4	名称	拠点：相良本通、藤枝駅南口、静波海岸入口、榛原総合病院 バス停：相良営業所、宗高新町、東名大井川、片岡北吉田特別支援学校		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	75.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・停留所の新設（相良営業所移転に伴う停留所の新設） 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 ・市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 ・欠損額を沿線市町で補助 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスマップ時刻表の配布 ・相良市街地バス停の利便性向上のため、上屋・駐輪場を整備 ・市民主催の路線バス魅力再発見ツアーへの協力 ・職員に対するバス路線利用促進 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・役場窓口へのバス時刻表の配架 ・町ホームページから運賃・経路検索ホームページへのリンク ・役場停留所付近に再生可能エネルギーによって発電・蓄電・給電する電源を備えたコンテナ型のバス待合所を設置 				



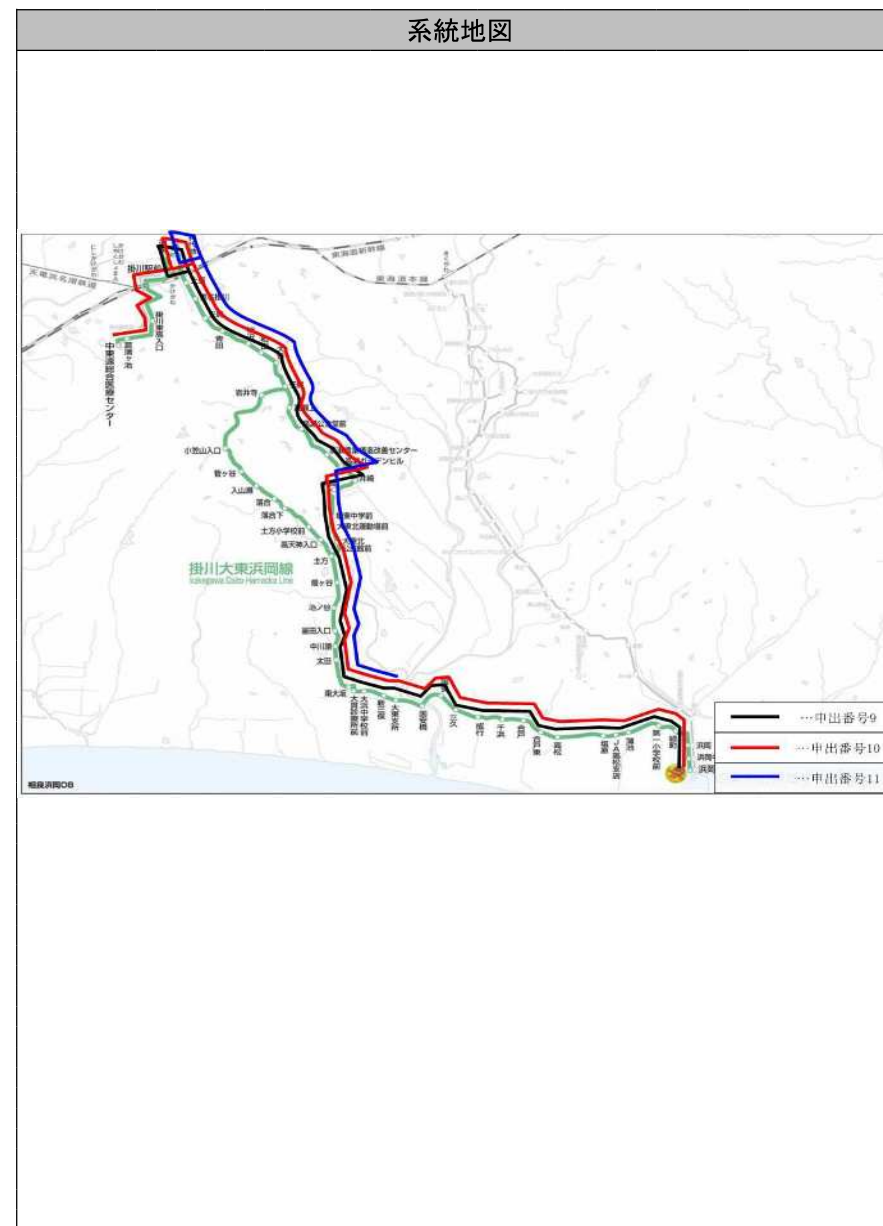
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	菊川浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	菊川駅前	菊川市立総合病院	浜岡営業所		
系統キロ程 (km)	17.5	輸送量 (人/日)	38.0		
平均乗車密度 (人/便)	5.0	運行回数 (回/日)	7.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	常葉大学菊川高校、菊川西中、加茂小学校、六郷小学校、小笠高校、横地小学校、小笠北小学校、岳洋中学校、小笠南小学校、菊川南陵高校、第一小学校、池新田高校、中遠調理師家政専門学校、浜岡中学校			
	病院	菊川市立総合病院、笠南医療センター			
	商業施設				
	その他	菊川市役所、菊川文化会館、菊川警察署、小笠図書館、菊川市役所小笠支所、菊川市民総合体育館、浜岡総合運動場、御前崎市役所、JR菊川駅			
収支率 (%) (収益/費用)	52.9		乗車人員 (人)	64,345	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停0	名称	拠点：浜岡営業所、JR菊川駅前		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	37.7				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 ・市のホームページ（コミュニティバスページ）へ事業者のリンクを貼り、時刻等の検索性を高める ・コミュニティバスの時刻表へ菊川浜岡線の時刻や乗り継ぎ情報等を掲載 ・事業者と協力し、女性バス運転手による小学生への職業講話を実施 ・市が携わる職業案内の場において、事業者の運転手募集情報を提供 ・欠損額を沿線市町で補助 				



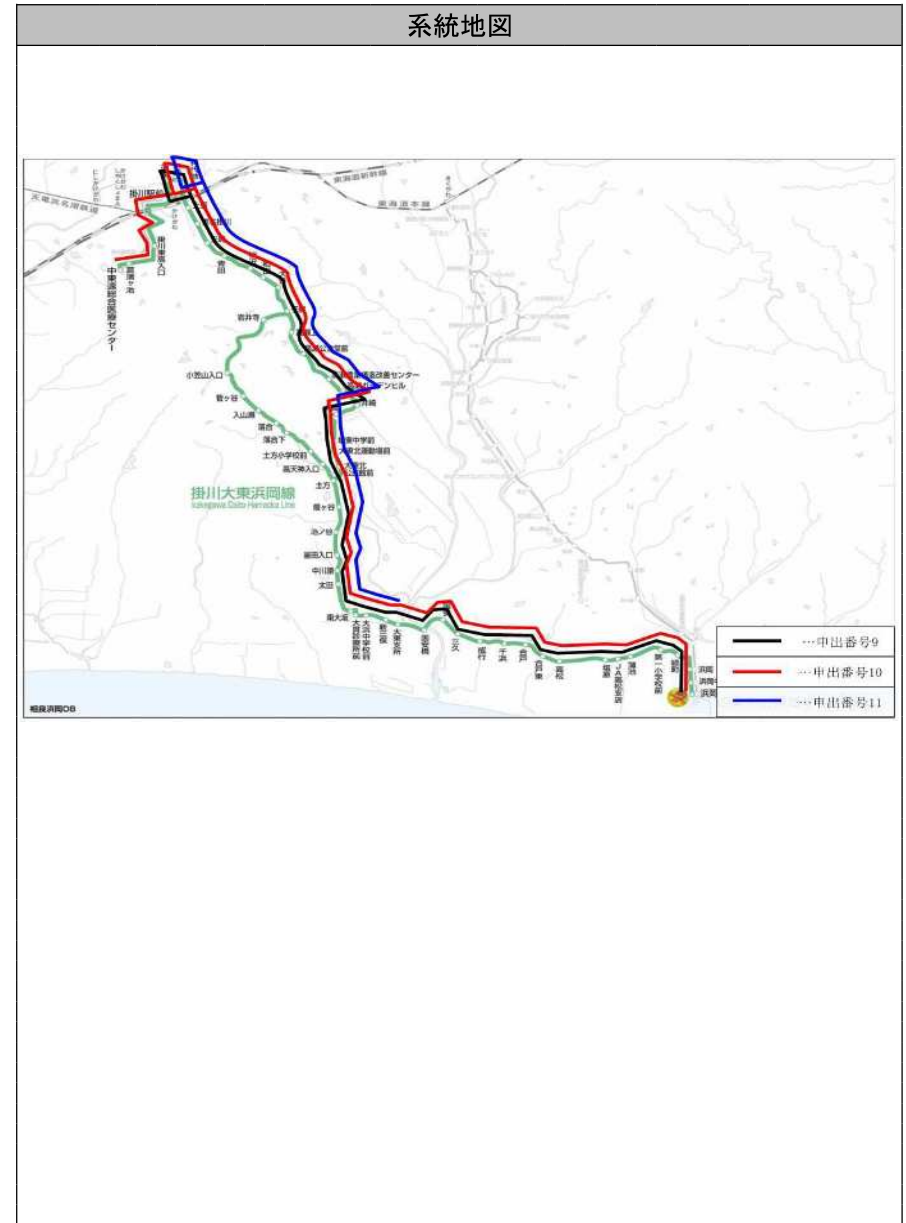
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	掛川駅前	井崎	浜岡営業所		
系統キロ程（km）	24.1	輸送量（人/日）	24.6		
平均乗車密度（人/便）	2.9	運行回数（回/日）	8.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校、千浜小学校、第一小学校、池新田高校、浜岡中学校、中遠調理師家政専門学校			
	病院	笠南医療センター			
	商業施設				
	その他	掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、御前崎市役所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅			
収支率（%） （収益/費用）	32.2		乗車人員（人）	62,720	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停1	名称	拠点：掛川駅前、浜岡営業所、大東支所 バス停：第一小学校前		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	57.7				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 ・75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 ・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク ・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 実績：R4年度 407人/年 R5年度 257人/上半期 ・欠損額を沿線市町で補助 				



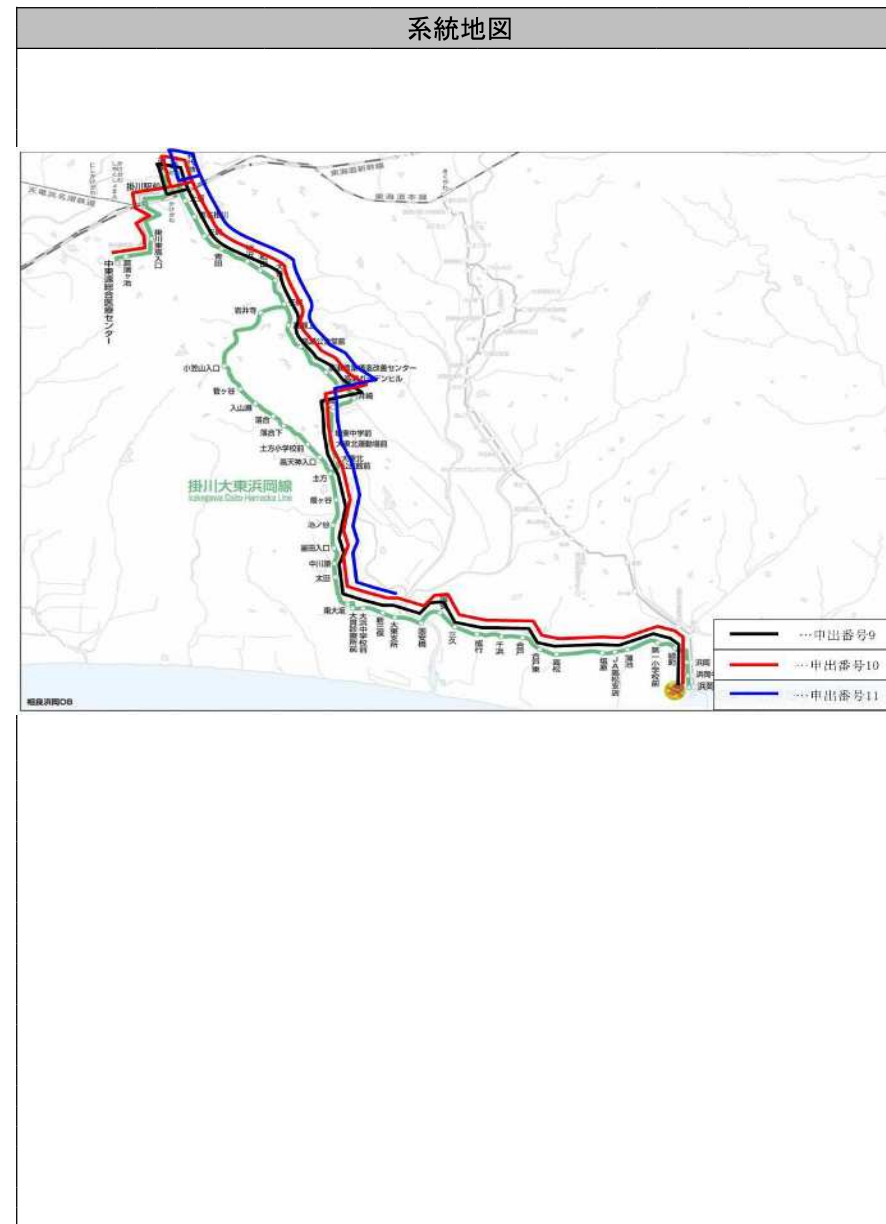
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線		事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点	
	中東遠総合医療センター	掛川駅前・井崎	浜岡営業所	
系統キロ程 (km)	27.6	輸送量 (人/日)	37.2	
平均乗車密度 (人/便)	6.0	運行回数 (回/日)	6.2	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	掛川東高校、中央小学校、掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校、千浜小学校、第一小学校、池新田高校、浜岡中学校、中遠調理師家政専門学校		
	病院	中東遠総合医療センター、笠南医療センター		
	商業施設			
	その他	掛川年金事務所、掛川法務合同庁舎、掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、御前崎市役所、J R掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅、		
収支率 (%) (収益/費用)	58.9	乗車人員 (人)	88,814	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 1	名称	拠点：中東遠総合医療センター、掛川駅前、浜岡営業所、大東支所 バス停：第一小学校前	
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	68.0			
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ バス乗り方リーフレットの配布 ・ 全国IC相互利用の導入 (2013年3月より) ・ ICカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上 			
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの徹底 ・ 利用実態に見合った運行便数への改善 ・ 燃料消費率の改善 (デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・ 燃料使用量の削減 (車両搭載燃料を抑制) ・ 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 			
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 ・ 75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 ・ 市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク ・ 中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 実績：R4年度 407人/年 R5年度 257人/上半期 ・ 欠損額を沿線市町で補助 			



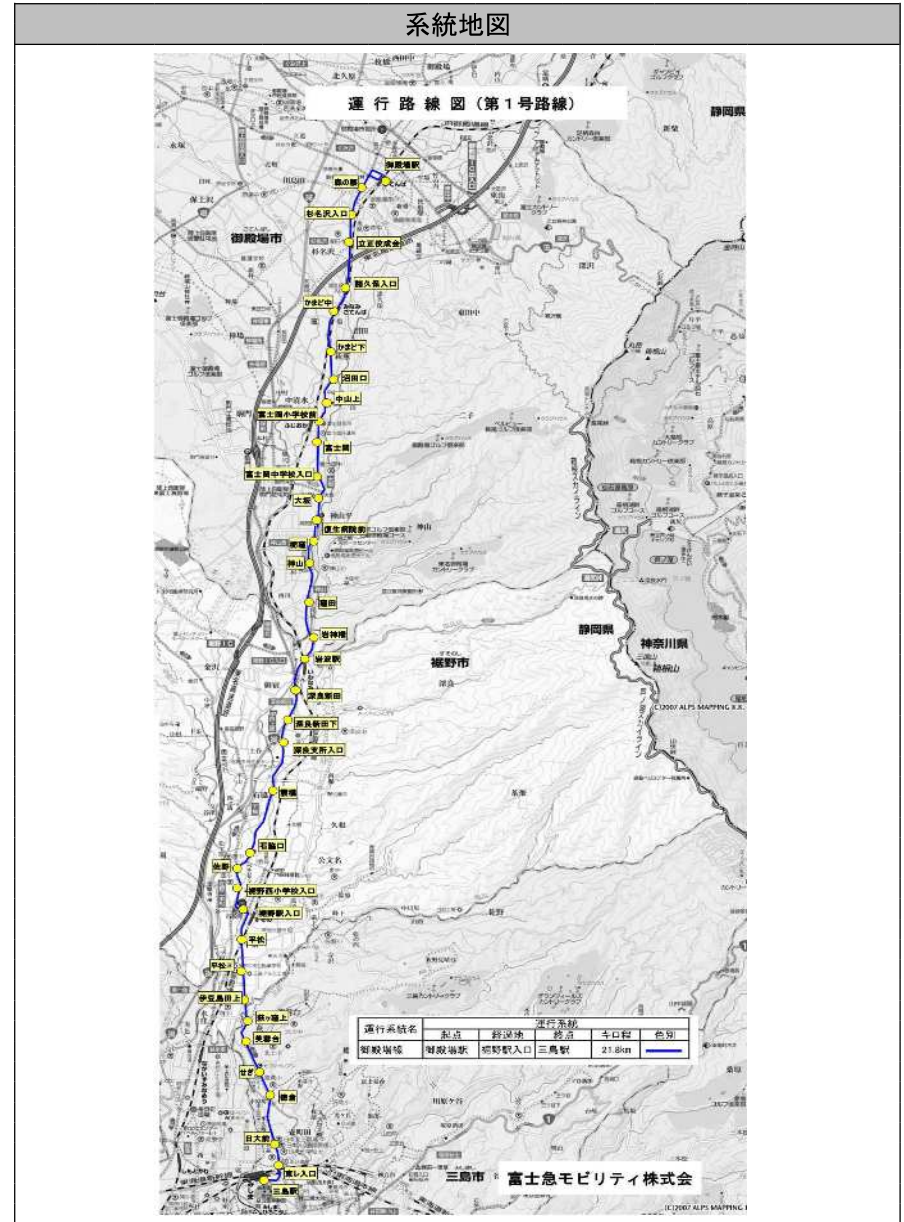
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	掛川大東浜岡線			事業者名	しずてつジャストライン
路線の状況	起点	経由地	終点		
	掛川駅前	井崎	大東支所		
系統キロ程 (km)	15.5	輸送量 (人/日)	31.9		
平均乗車密度 (人/便)	3.9	運行回数 (回/日)	8.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	掛川西高校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂小学校、大浜中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅			
収支率 (%) (収益/費用)	45.7		乗車人員 (人)	46,411	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停0	名称	拠点：掛川駅前、大東支所		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	82.1				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 ・75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 ・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク ・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 実績：R4年度 407人/年 R5年度 257人/上半期 ・欠損額を沿線市町で補助 				



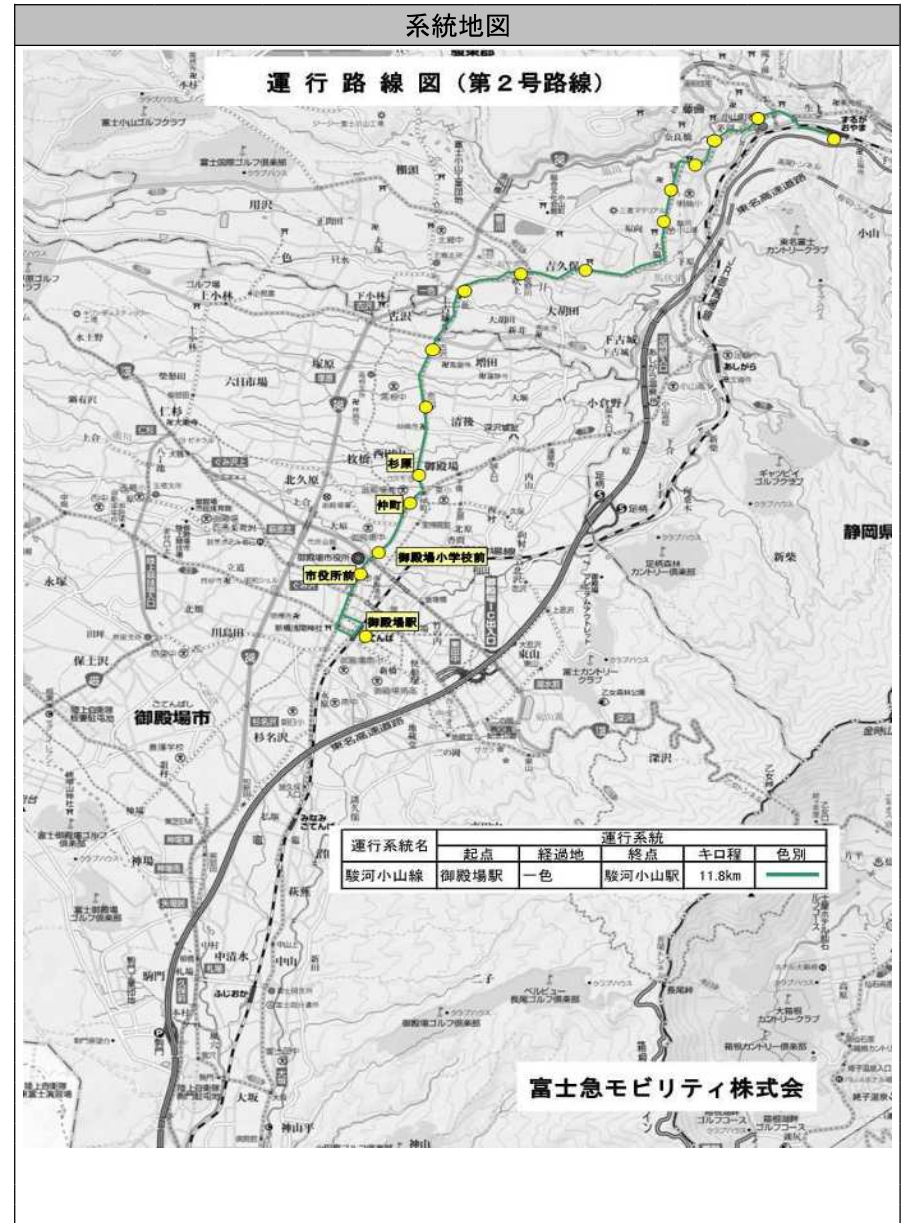
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	御殿場線			事業者名	富士急モビリティ
路線の状況	起点	経由地	終点		
	御殿場駅	裾野駅 入口	三島駅		
系統キロ程 (km)	21.8	輸送量 (人/日)	30.0		
平均乗車密度 (人/便)	6.0	運行回数 (回/日)	5.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	日本大学、日大三島高校、三島北小学校、三島北中学校、徳倉小学校、裾野西小学校、神山小学校、富士岡小学校、富士岡中学校			
	病院	大橋医院、神山復生病院			
	商業施設	ヘルシティ、時之栖			
	その他	裾野市役所、裾野市民文化センター、県御殿場総合庁舎、矢崎部品、トヨタ自動車東日本、トヨタタウン・シティ、岡村製作所			
収支率 (%) (収益/費用)	71.6		乗車人員 (人)	59,375	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停8	名称	拠点：JR三島駅、JR岩波駅、JR御殿場駅 バス停：東し入口、萩芙蓉台、平松南、裾野駅入口、裾野市民文化センター、復生病院前、かまど中、森の腰		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	57.0				
増収策	<p>ア. 割引（セット券）の販売及び季節路線の運行 ・富士山南麓エリア周遊きっぷ等の販売 等 イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ・バス時刻表・乗り案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・町広報誌やSNSで発信を依頼 ウ. 利用者に配慮した取り組み ・車内ドライブレコーダー活用した接客・事故の振返りを実施、バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信、GTFSデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供、多言語化による情報配信、クレカによる精算を実施 エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動</p>				
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ウ. ドライブレコーダー（H25年度内で全車搭載済み）を活用し修理費等の削減 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。</p>				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・欠損額の一部を補助 ・市HPに路線バス時刻表のリンクを掲載。 ・沿線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ・公共交通にちなんだイベントを実施 ・支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 				



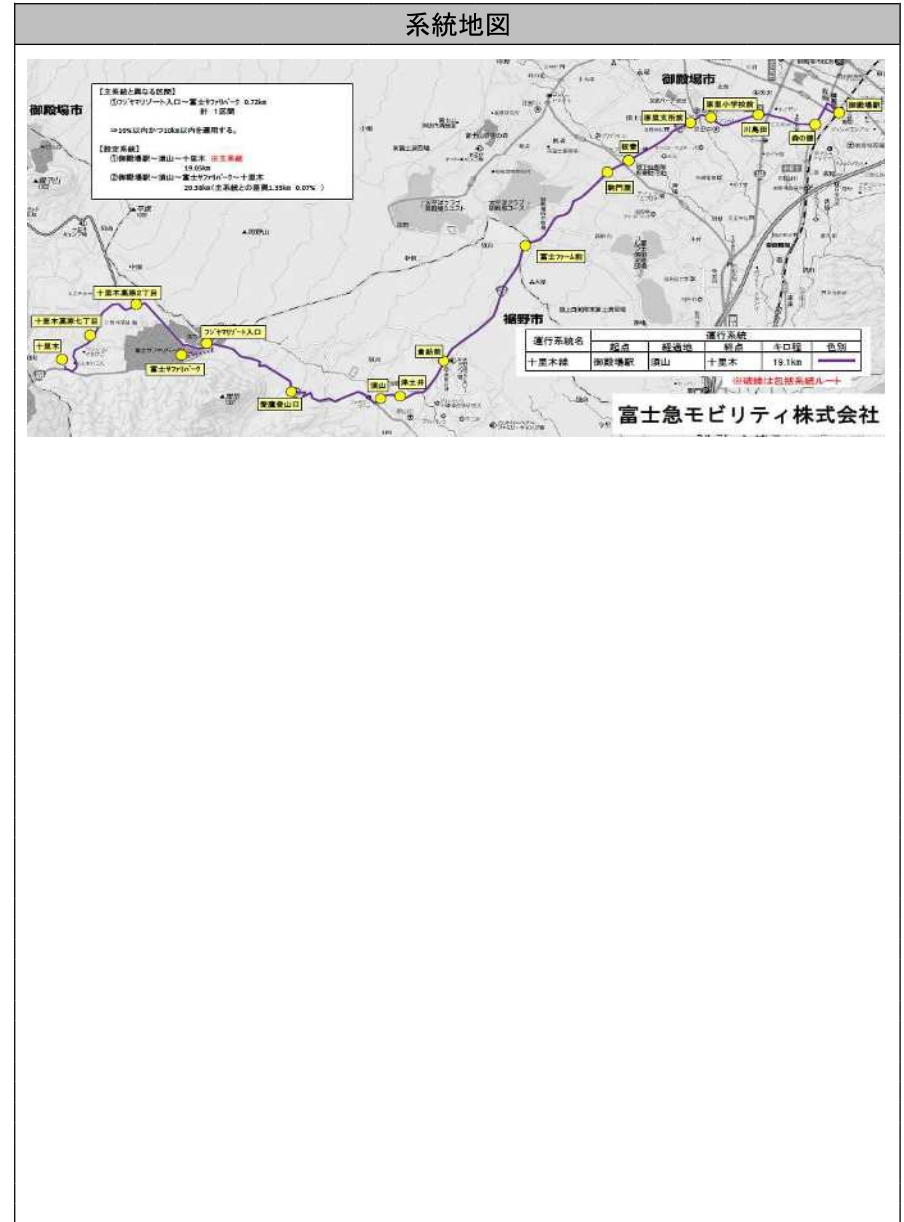
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	駿河小山線		事業者名	富士急モビリティ
路線の状況	起点	経由地	終点	
	御殿場駅	一色	駿河小山駅	
系統キロ程 (km)	11.8	輸送量 (人/日)	31.8	
平均乗車密度 (人/便)	3.7	運行回数 (回/日)	8.6	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	御殿場小学校・御殿場中学校、御殿場高校、高根小学校・高根中学校、明倫小学校		
	病院	救急医療センター		
	商業施設	ハックドラック、マミー、セルバ、道の駅ふじおやま、コメリ、丸善食品		
	その他	郵便局（5件）、御殿場市役所、小山町役場、小山町消防署、コミュニティセンター、御殿場保健センター、小山町ふじみセンター		
収支率 (%) (収益/費用)	53.4	乗車人員 (人)	62,400	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停7	名称	拠点：JR御殿場駅、JR駿河小山駅 バス停：湯沢、上合、上町、佐野川、仲町、その他18の停留所が小山町デマンドバス乗降ポイントに指定	
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	67.3			
増収策	<p>ア. 割引（セット券）の販売及び季節路線の運行 ・富士山南麓エリア周遊きっぷ等の販売 等 イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ・バス時刻表・乗り方案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・町広報誌やSNSで発信を依頼 ウ. 利用者に配慮した取り組み ・車内ドライブレコーダー活用した接客・事故の振返りを実施、バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信、GTFSデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供、多言語化による情報配信、クレカによる精算を実施 エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動</p>			
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ウ. ドライブレコーダー（H25年度内で全車搭載済み）を活用し修理費等の削減 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。</p>			
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> 沿線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け 公共交通にちなんだイベントを実施 支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 			



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	十里木線			事業者名	富士急モビリティ
路線の状況	起点	経由地	終点		
	御殿場駅	須山	十里木		
系統キロ程 (km)	19.0	輸送量 (人/日)	25.4		
平均乗車密度 (人/便)	3.8	運行回数 (回/日)	6.7		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	原里小学校・原里中学校、須山小学校			
	病院	フジ虎ノ門病院、東部病院、渡辺整形外科			
	商業施設	クラボウ、ピオパーク、JAなんすん			
	その他	原里支所、板妻駐屯地、須山支所、裾野富士山資料館、富士裾野工業団地、東海ゴム、須山浅間神社、富士サファリパーク、十里木別荘地、愛鷹山登山口			
収支率 (%) (収益/費用)	47.6		乗車人員 (人)	46,806	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停6	名称	拠点：JR御殿場駅 バス停：森の腰、大樫、板妻、須山、富士サファリパーク、原里支所		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	33.8				
増収策	<p>ア. 割引（セット券）の販売及び季節路線の運行 ・富士山南麓エリア周遊きっぷ等の販売 等 イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ・バス時刻表・乗り方案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・町広報誌やSNSで発信を依頼 ウ. 利用者に配慮した取り組み ・車内ドライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施、バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信、GTFISデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供、多言語化による情報配信、クレカによる精算を実施 エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動</p>				
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ウ. ドライブレコーダー（H25年度内で全車搭載済み）を活用し修理費等の削減 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。</p>				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市HPに路線バス時刻表のリンクを掲載 ・高齢者へバス・タクシー利用助成券を交付。 ・運転免許自主返納者へバス・タクシー利用助成券を交付。 ・沿線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ・公共交通にちなんだイベントを実施 ・支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 				



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	河口湖線			事業者名	富士急モビリティ
路線の状況	起点	経由地	終点		
	河口湖	旭日丘	御殿場駅		
系統キロ程 (km)	36.9	輸送量 (人/日)	23.1		
平均乗車密度 (人/便)	7.7	運行回数 (回/日)	3.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	御殿場西高校、須走小学校、須走中学校、山中湖小学校、山中湖中学校、富士吉田市立看護専門学校、日大セミナーハウス、自衛隊富士学校			
	病院	富士吉田市立病院、渡辺整形外科			
	商業施設	JA御殿場、キンディステイリー、ケースデンキ、JA須走、道の駅すばしり、ファナック、道の駅富士吉田、都留信用組合			
	その他	御殿場市立図書館、御殿場市民会館、須走支所、山中湖村役場、山中湖郵便局、自衛隊北富士駐屯地、上吉田コミュニティセンター、須走浅間神社、天恩、森の駅旭日丘、文学の森公園、忍野八海、おかな公園、忍野温泉、北口本宮富士浅間神社、富士急ハイランド			
収支率 (%) (収益/費用)	79.7		乗車人員 (人)	51,429	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点3 バス停11	名称	拠点：JR御殿場駅、富士急行富士山駅、富士急行河口湖駅 バス停：湯沢、くみ沢、図書館前、須走浅間神社、山中湖旭日丘、山中湖村役場前、富士山山中湖、忍野入口、セメ草、横町、警察署前		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	76.8				
増収策	<p>ア、割引（セット券）の販売及び季節路線の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山南麓エリア周遊きっぷ等の販売 等 <p>イ、地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス時刻表・乗り方案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・町広報誌やSNSで発信を依頼 <p>ウ、利用者に配慮した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内ドライブレコーダー活用した接客・事故の振返りを実施、バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信、GTFDSデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供、多言語化による情報配信、クレカによる精算を実施 <p>エ、イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動</p>				
費用削減策	<p>ア、燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ</p> <p>イ、アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転街頭指導による注意喚起</p> <p>ウ、ドライブレコーダー（H25年度内で全車搭載済み）を活用し修理費等の削減</p> <p>エ、効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減</p> <p>オ、デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築</p> <p>カ、電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。</p>				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ・公共交通にちなんだイベントを実施 ・支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 				



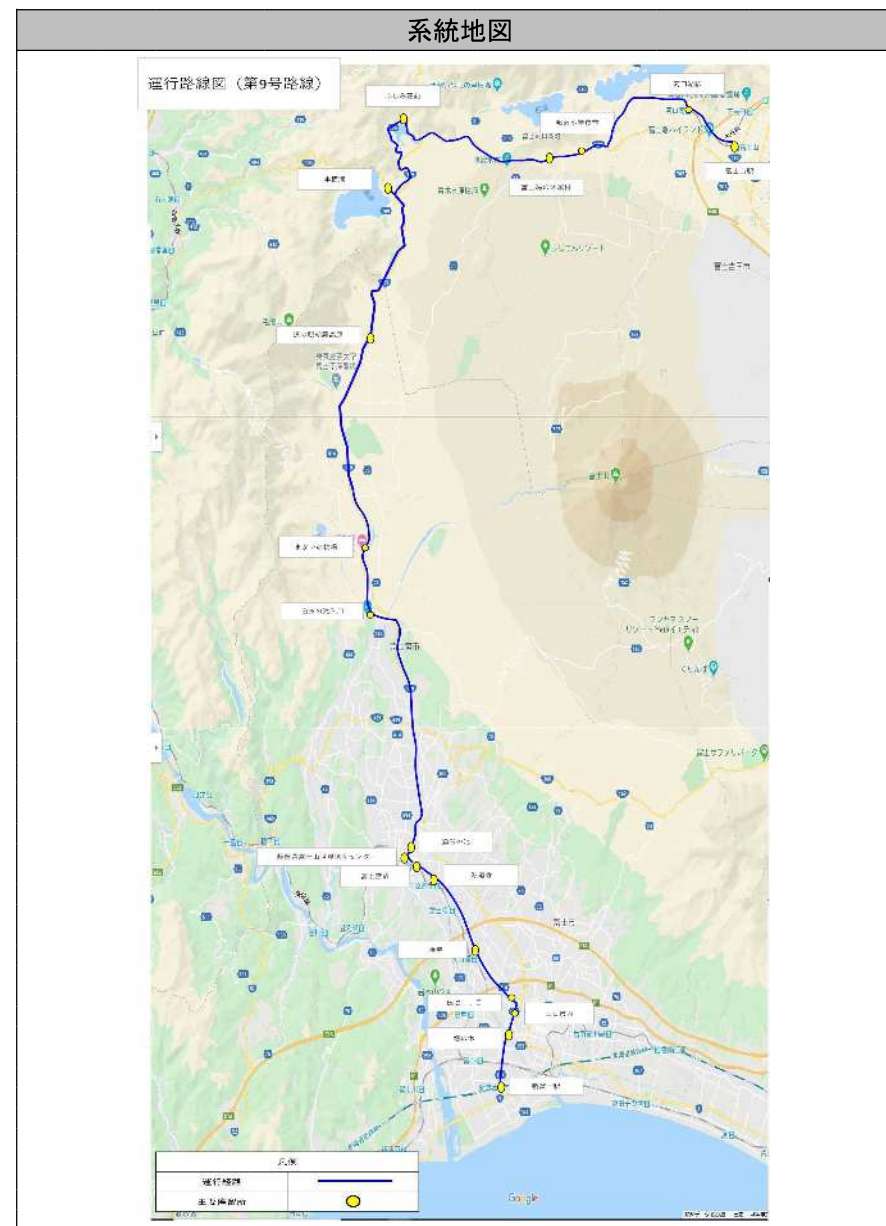
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	河口湖線			事業者名	富士急バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	河口湖駅	膳棚 旭日丘	御殿場駅		
系統キロ程 (km)	37.9	輸送量 (人/日)	73.2		
平均乗車密度 (人/便)	7.4	運行回数 (回/日)	9.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	御殿場西高校、須走小学校、須走中学校、山中湖小学校、山中湖中学校、富士吉田市立看護専門学校、日大セミナーハウス、自衛隊富士学校			
	病院	富士吉田市立病院、渡辺整形外科			
	商業施設	JA御殿場、キリンディステリー、ケースデンキ、JA須走、道の駅すばしり、ファナック、道の駅富士吉田、都留信用組合			
	その他	御殿場市立図書館、御殿場市民会館、須走支所、山中湖村役場、山中湖郵便局、自衛隊北富士駐屯地、上吉田コミュニティセンター、須走浅間神社、森の駅旭日丘、文学の森公園、忍野八海、さかな公園、忍野温泉、北口本宮富士浅間神社、富士急ハイランド			
収支率 (%) (収益/費用)	74.9		乗車人員 (人)	230,566	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停11	名称	拠点：JR御殿場駅、富士急行富士山駅、富士急行河口湖駅 バス停：湯沢、くみ沢、図書館前、須走浅間神社、山中湖旭日丘、山中湖村役場前、富士山中湖、忍野入口、セマ草、横町、消防署前		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	90.3				
増収策	<p>(1) 地域との連携や自社スクールを活用してセールスを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係自治体と連携してバス乗り方教室を実施 ・バス車内におけるイベント企画（幼稚園・学生個展やクリスマス装飾など）や社内映像モニターの活用による地域施設の紹介 ・コンテンツプロバイダや観光情報サイトに参画 ・自社スクールメリットを活かし、テレビや新聞など大型パブリシティを獲得 ・各自治体・学校施設・旅行会社と連携し、EVバスを利用したSDGsの取り組みを伝えて、バス利用を促進 <p>(2) 利用環境の改善による利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低床バス比率を高める、地域別バスマップの作製、バスロケーションシステムを利用した利便性の向上 <p>(3) 商品造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループのスクールメリットを活かし、関係施設との企画乗車券を作成 ・関係施設とのタイアップ効果によるバス利用の促進 				
費用削減策	<p>(1) 運行の効率化（経費削減）を図るため、不採算運行の再編、減便等の検討。</p> <p>(2) 引き続き、グループのスクールメリットを活かした一括購入による仕入れ価格の減少やエコドライブを推進し、経費削減を図っていく。</p> <p>(3) 軽油燃料・オイル・タイヤの仕入れ価格について、引き続き本社部門での定期的見直しを行う。</p> <p>(4) 車両購入や比較的金額が多い備品類等についても比較購入を実施し、固定経費を削減</p> <p>(5) エコドライブ推進（アイドリングストップ運動）により、軽油の使用量削減と環境保全</p> <p>(6) 車両の計画的更新による燃料効率の向上と、修繕費の削減に努める。</p> <p>(7) EVバスでの運行を行うことで燃料使用量を削減する。</p> <p>(8) ラッピングバス等付帯収入の確保により、収支改善を図る。</p>				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ・公共交通にちなんだイベントを実施 ・支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 ・シルバー定期券の購入費助成 ・コミュニティバスマップに路線バスの情報を掲載し、全世帯への配布 ・広報誌、SNS、ホームページを活用した情報発信 ・交通事業者と連携し、GTFSデータの整備に取り組む 				



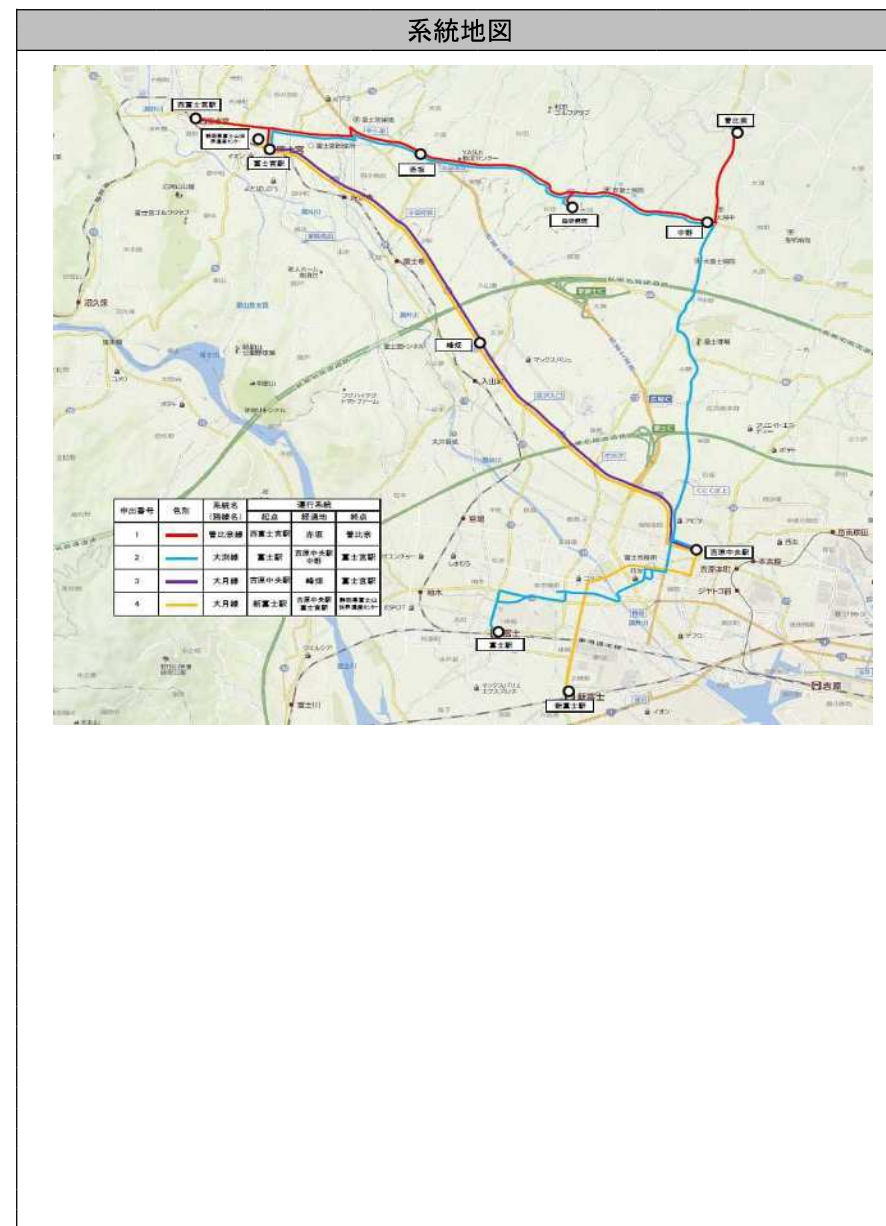
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	新富士線			事業者名	富士急バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	富士山駅	精進湖 富士宮駅	新富士駅		
系統キロ程（km）	72.4	輸送量（人/日）	17.1		
平均乗車密度（人/便）	5.9	運行回数（回/日）	2.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	大宮小学校、富岳館高等学校、富士リハビリテーション専門学校、富士北稜高等学校、吉田西小学校、船津小学校、小立小学校、河口湖南中学校、勝山中学校、大滝小学校、鳴沢小学校			
	病院	富士宮市立病院、富士市立中央病院			
	商業施設	道の駅朝霧高原、イオンモール富士宮、ASTY新富士、富士山駅Q-STA、道の駅なるさわ、森の駅風穴			
	その他	朝霧高原もちや、白糸の滝、富士山本宮後間大社、静岡県富士山世界遺産センター、富士宮市郵便局、富士急ハイランド、本栖湖観光案内所、富士本栖湖リゾート、鳴沢村役場、富士河口湖町精進出張所、鳴沢郵便局、精進郵便局、本栖簡易郵便局			
収支率（%） （収益/費用）	51.2		乗車人員（人）	53,208	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停9	名称	拠点：JR新富士駅、JR富士宮駅、富士急行河口湖駅、富士急行富士山駅 バス停：塔の木、伝法二丁目、一乗寺、白糸の滝入口、本栖湖、風穴、勝山、剣丸尾、松山		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	76.3				
増収策	<p>（1）地域との連携や自社スケールを活用してセールスを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係自治体と連携してバス乗り方教室を実施 バス車内におけるイベント企画（幼稚園・学生個展やクリスマス装飾など）や社内映像モニターの活用による地域施設の紹介 コンテンツプロバイダや観光情報サイトに参画 自社スケールメリットを活かし、テレビや新聞など大型パブリシティを獲得 各自自治体・学校施設・旅行会社と連携し、EVバスを利用したSDGsの取り組みを伝えて、バス利用を促進 <p>（2）利用環境の改善による利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 低床バス比率を高める、地域別バスマップの作製、バスロケーションシステムを利用した利便性の向上 <p>（3）商品造成</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのスケールメリットを活かし、関係施設との企画乗車券を作成 関係施設とのタイアップ効果によるバス利用の促進 				
費用削減策	<p>（1）運行の効率化（経費削減）を図るため、不採算運行の再編、減便等の検討。</p> <p>（2）引き続き、グループのスケールメリットを活かした一括購入による仕入れ価格の減少やエコドライブを推進し、経費削減を図っていく。</p> <p>（3）軽油燃料・オイル・タイヤの仕入れ価格について、引き続き本社部門での定期的見直しを行う。</p> <p>（4）車両購入や比較的金額が多い備品類等についても比較購入を実施し、固定経費を削減</p> <p>（5）エコドライブ推進（アイドリングストップ運動）により、軽油の使用量削減と環境保全</p> <p>（6）車両の計画的更新による燃料効率の向上と、修繕費の削減に努める。</p> <p>（7）EVバスでの運行を行うことで燃料使用量を削減する。</p> <p>（8）ラッピングバス等付帯収入の確保により、収支改善を図る。</p>				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> バス路線案内の配架 「富士市バスなび」の配布 富士山西麓周遊チケットなど、河口湖方面への観光と連携した取り組みを実施 				



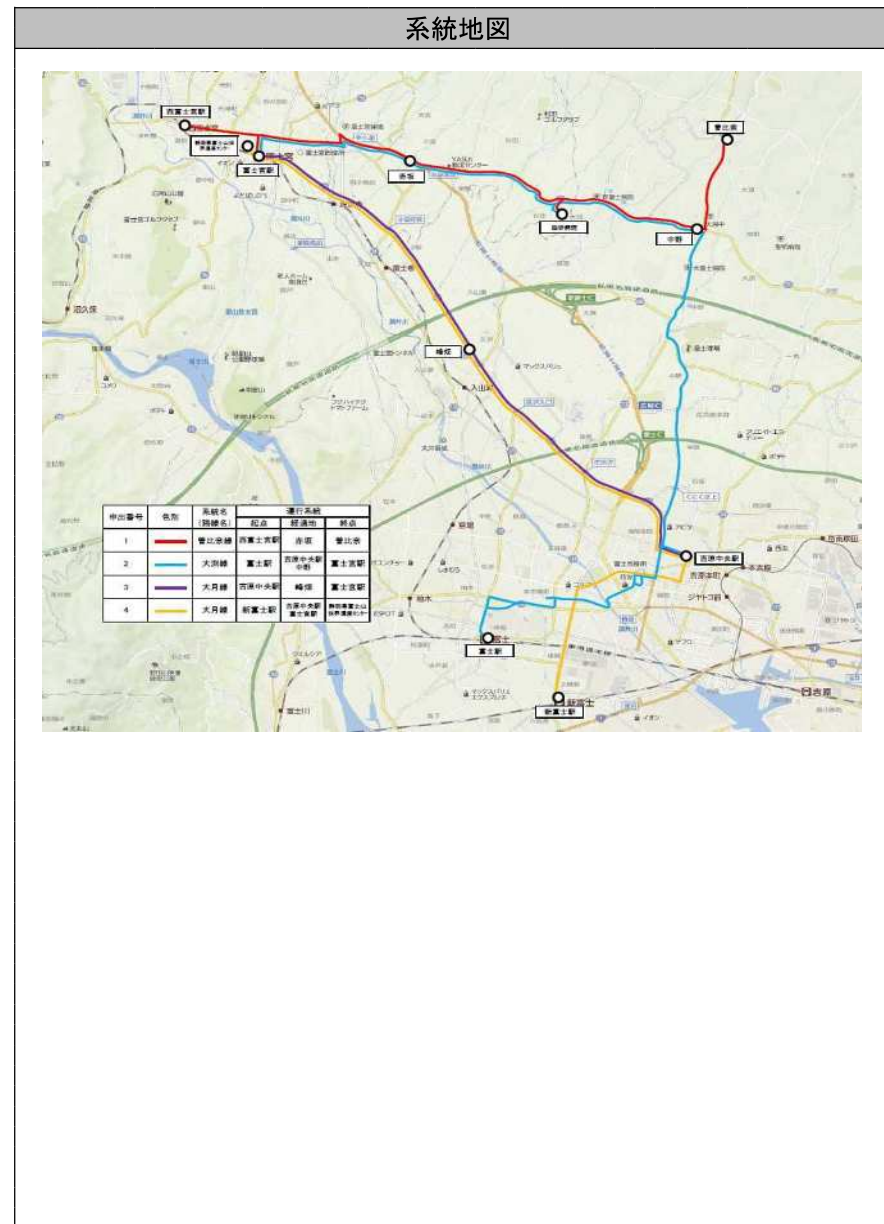
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	曾比奈線			事業者名	富士急静岡バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	西富士宮駅	赤坂	曾比奈		
系統キロ程 (km)	11.5	輸送量 (人/日)	16.1		
平均乗車密度 (人/便)	3.3	運行回数 (回/日)	4.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	大淵第一小学校、大淵中学校、富士宮東高校、富士宮第一中学校、富士宮東小学校、富士特別支援学校			
	病院	新富士病院、富士脳研病院			
	商業施設				
	その他	JR西富士宮駅・富士宮駅			
収支率 (%) (収益/費用)	60.3		乗車人員 (人)	35,491	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停4	名称	拠点：JR西富士宮・富士宮駅 バス停：十字街、神田通り、駅東入口、中野		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	82.2				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学校への乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等） 5) 免許返納者への支援事業（富士・富士宮市）と連携し回数乗車券の利用および高齢者定期購入費補助の実施 6) 富士市とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 7) 利用者向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業（ICカード購入補助、高齢者定期券購入補助、共通回数券購入補助）」と連携し安心・安全を広報 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努めた。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・路線案内の配架 ・のりもの祭での路線バス利用促進 ・「バスの日イベント」等のイベントの実施 ・乗継割引券・市内共通回数券の運用 ・「富士市バスなび」の配布 ・市自主運行路線との接続による相乗効果を図る 				



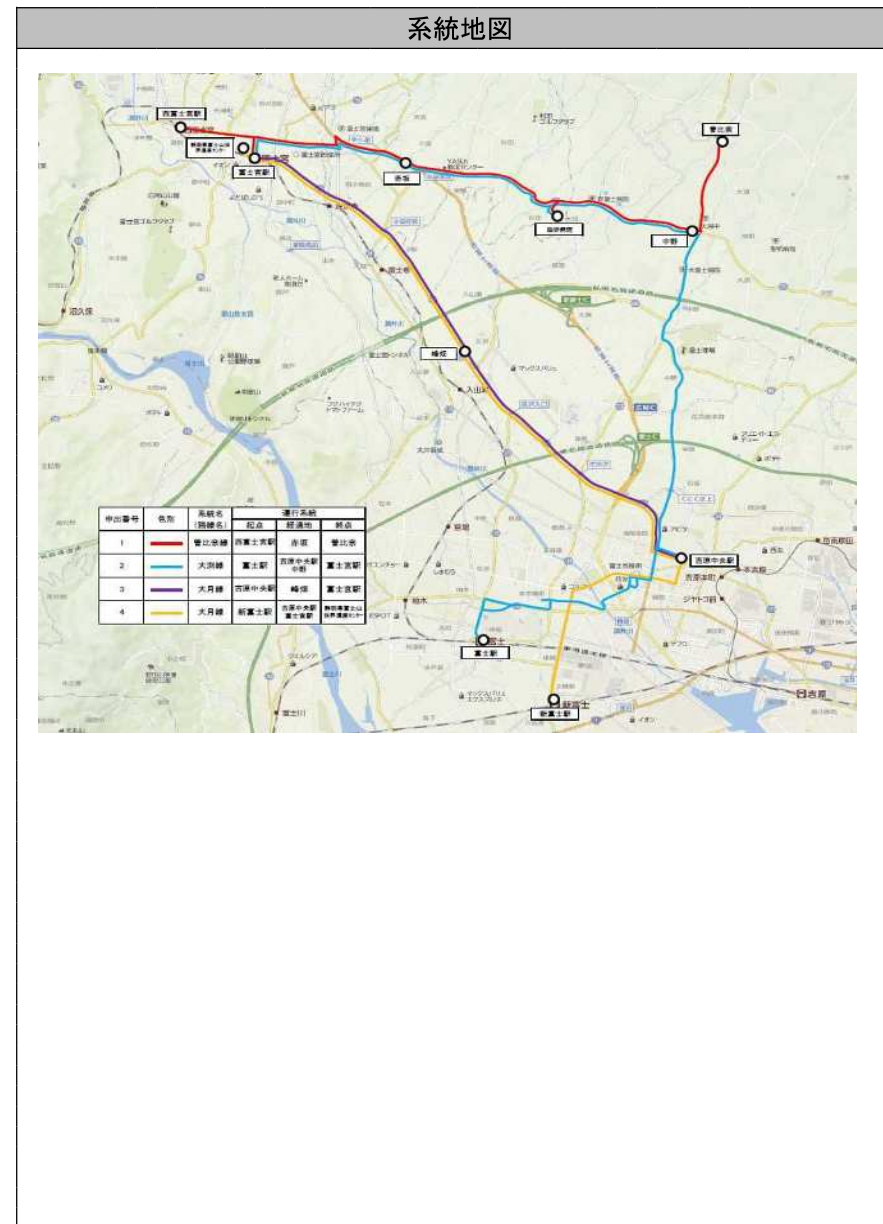
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	大淵線			事業者名	富士急静岡バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	富士駅	吉原中央駅 中野	富士宮駅		
系統キロ程（km）	19.9	輸送量（人/日）	16.7		
平均乗車密度（人/便）	5.4	運行回数（回/日）	3.1		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	大淵第一小学校、大淵中学校、富士宮東高校、富士宮第一中学校、富士宮東小学校、吉原第一中学校、富士第一小学校、富士特別支援学校			
	病院	新富士病院、大富士病院、富士脳研病院、富士中央病院			
	商業施設				
	その他	JR富士宮駅・吉原中央駅、富士市役所、富士総合庁舎			
収支率（%） （収益/費用）	79.3		乗車人員（人）	30,084	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停4	名称	拠点：JR富士宮駅、吉原中央駅、富士駅 バス停：昭和通り、広見団地入口、中野、穴原入口		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	43.5				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学校への乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等） 5) 免許返納者への支援事業（富士・富士宮市）と連携し回数乗車券の利用および高齢者定期購入費補助の実施 6) 富士市とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 7) 利用者向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業（ICカード購入補助、高齢者定期券購入補助、共通回数券購入補助）」と連携し安心・安全を広報 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努めた。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・路線案内の配架 ・のりもの祭での路線バス利用促進 ・「バスの日イベント」等のイベントの実施 ・乗継割引券・市内共通回数券の運用 ・「富士市バスなび」の配布 ・市自主運行路線との接続による相乗効果を図る 				



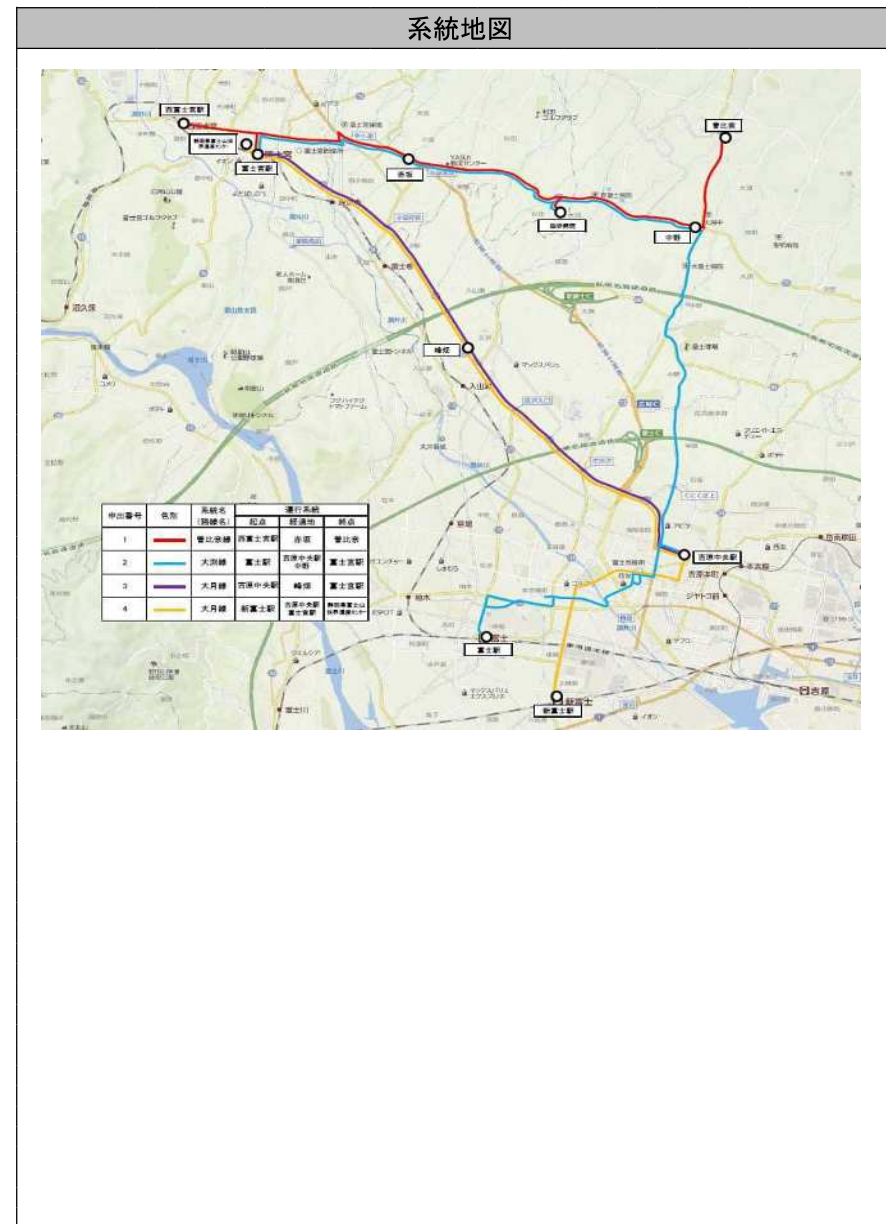
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	大月線			事業者名	富士急静岡バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	吉原中央駅	峰畑	富士宮駅		
系統キロ程 (km)	9.5	輸送量 (人/日)	85.1		
平均乗車密度 (人/便)	4.3	運行回数 (回/日)	19.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	富岳館高校、富士宮東高校、鷹岡中学校、鷹岡小学校、伝法小学校、吉原第一中学校			
	病院	富士宮市立病院			
	商業施設	イオン富士宮店、ドン・キホーテユニ-富士吉原店			
	その他	富士宮市役所			
収支率 (%) (収益/費用)	80.0		乗車人員 (人)	117,172	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停4	名称	拠点：JR富士宮駅、源道寺駅、吉原中央駅 バス停：富士宮駅、吉原中央駅、一乗寺、昭和通り		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	57.7				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学校への乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等） 5) 免許返納者への支援事業（富士・富士宮市）と連携し回数乗車券の利用および高齢者定期購入費補助の実施 6) 富士市とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 7) 利用者向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業（ICカード購入補助、高齢者定期券購入補助、共通回数券購入補助）」と連携し安心・安全を広報 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努めた。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・路線案内の配架 ・のりもの祭での路線バス利用促進 ・「バスの日イベント」等のイベントの実施 ・乗継割引券・市内共通回数券の運用 ・「富士市バスなび」の配布 ・市自主運行路線との接続による相乗効果を図る 				



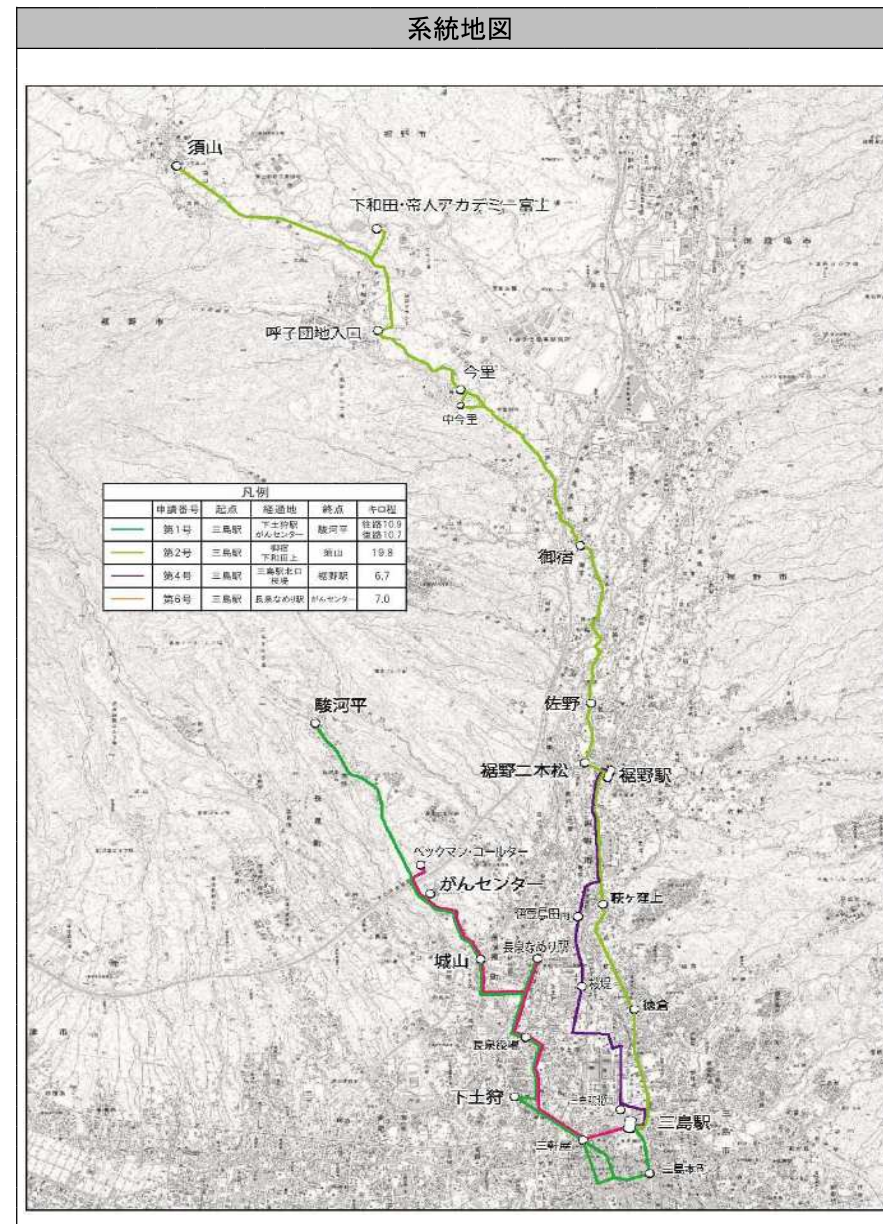
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	大月線			事業者名	富士急静岡バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	新富士駅	吉原中央駅 富士宮駅	静岡県富士山 世界遺産センター		
系統キロ程 (km)	14.1	輸送量 (人/日)	17.4		
平均乗車密度 (人/便)	5.8	運行回数 (回/日)	3.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	富岳館高校、富士宮東高校、鷹岡中学校、鷹岡小学校、伝法小学校、吉原第一中学校			
	病院	富士宮市立病院			
	商業施設	イオン富士宮店、ドン・キホーテユニ-富士吉原店			
	その他	富士宮市役所			
収支率 (%) (収益/費用)	93.1	乗車人員 (人)	17,958		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停4	名称	拠点：JR富士宮駅、源道寺駅、吉原中央駅、新富士駅 バス停：富士宮駅、吉原中央駅、一乗寺、昭和通り		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	54.7				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学校への乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等） 5) 免許返納者への支援事業（富士・富士宮市）と連携し回数乗車券の利用および高齢者定期購入費補助の実施 6) 富士市とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 7) 利用者向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業（ICカード購入補助、高齢者定期券購入補助、共通回数券購入補助）」と連携し安心・安全を広報 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努めた。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・路線案内の配架 ・のりもの祭での路線バス利用促進 ・「バスの日イベント」等のイベントの実施 ・乗継割引券・市内共通回数券の運用 ・「富士市バスなび」の配布 ・市自主運行路線との接続による相乗効果を図る 				



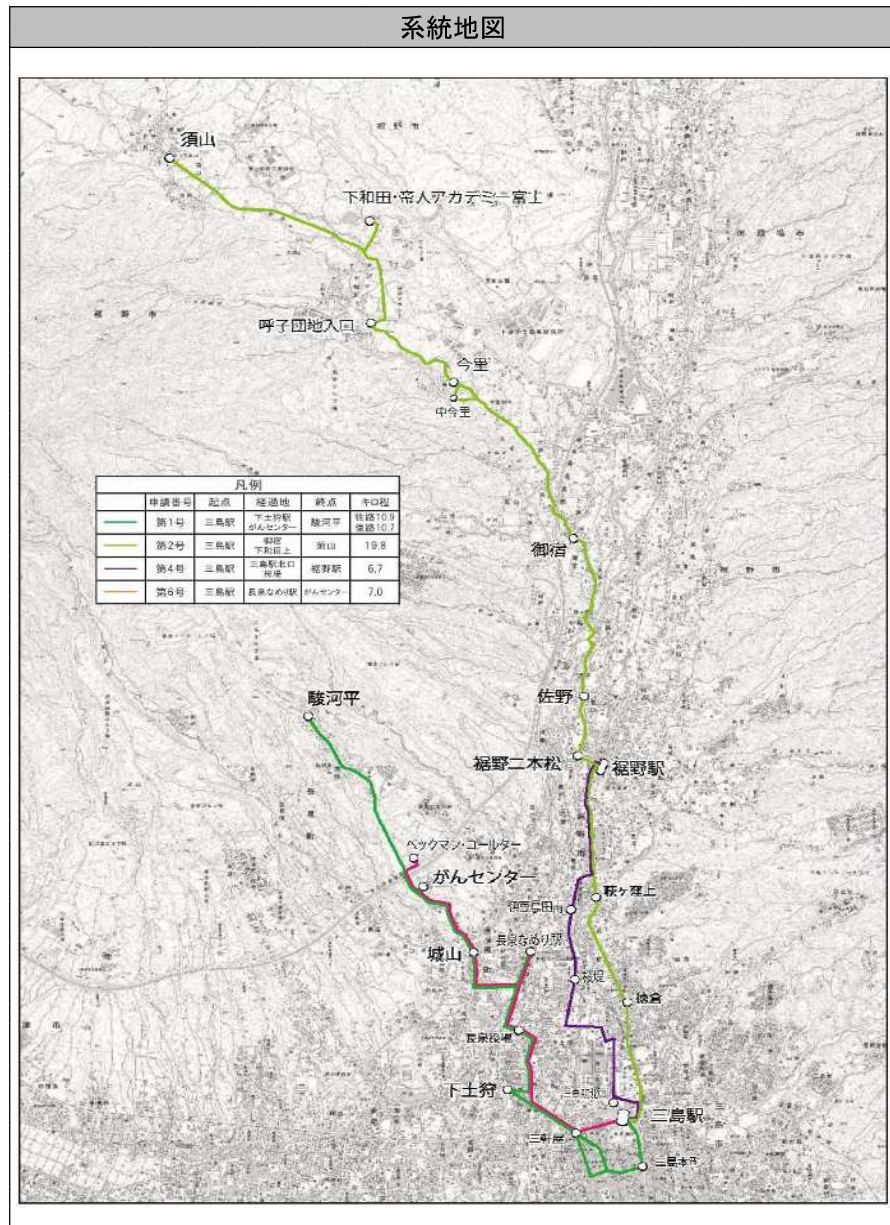
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	駿河平線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	三島駅	長泉なめり駅 がんセンター	駿河平		
系統キロ程 (km)	12.3	輸送量 (人/日)	45.9		
平均乗車密度 (人/便)	5.6	運行回数 (回/日)	8.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	長泉北小学校、長泉小学校、長泉中学校			
	病院	県立がんセンター			
	商業施設	ウェルデイ長泉、クレマチスの丘、ピュフェ美術館等、スルガ銀行、ヘックマンコールター			
	その他	JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道三島広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園、三島市民会館、長泉町文化会館、ファルマバレーセンター			
収支率 (%) (収益/費用)	77.7		乗車人員 (人)	82,957	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停3	名称	拠点：JR下土狩駅、JR三島駅、JR長泉なめり駅、伊豆箱根鉄道三島広小路駅 バス停：三島本町、長泉役場、下長窪		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	46.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。(ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る 				



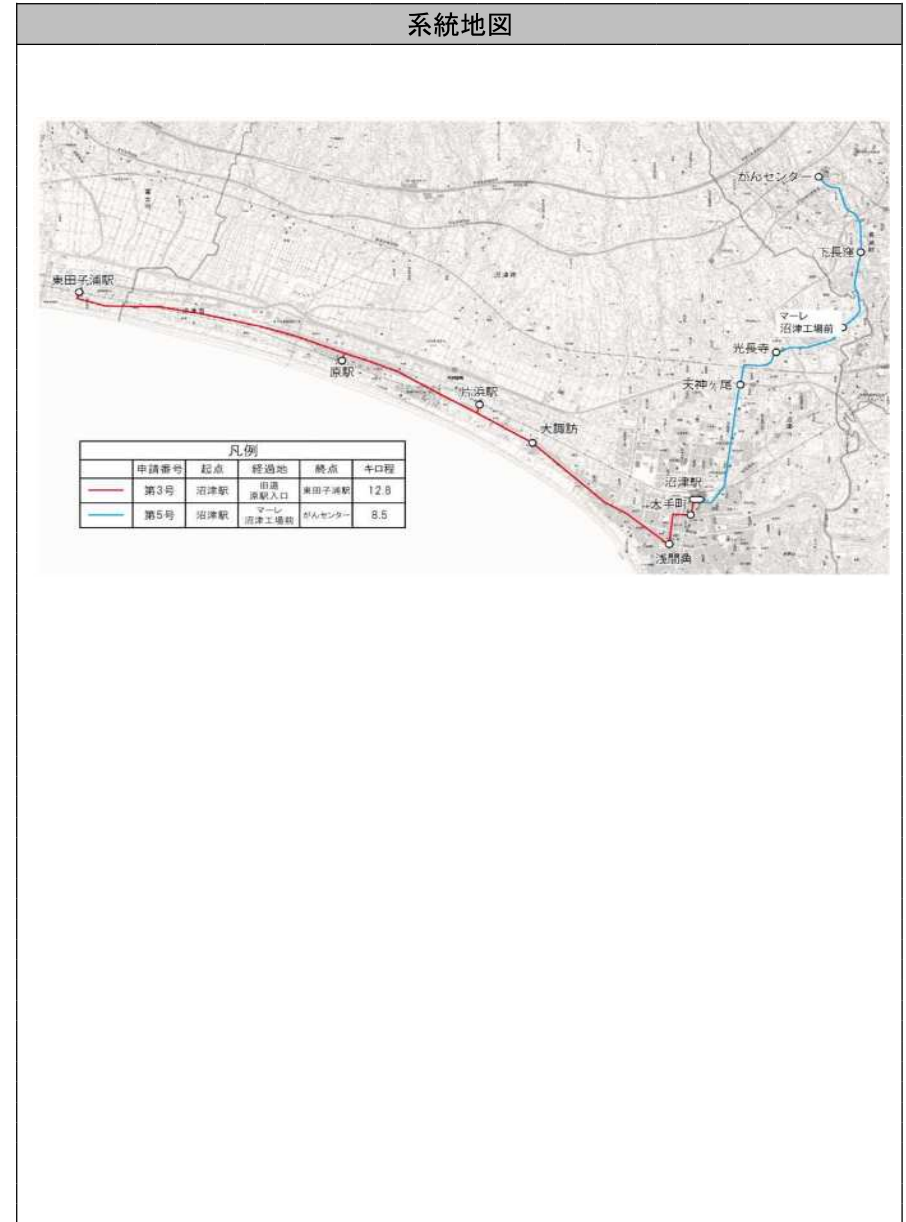
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	須山線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	三島駅	御宿 下和田上	須山		
系統キロ程 (km)	19.7	輸送量 (人/日)	34.8		
平均乗車密度 (人/便)	4.2	運行回数 (回/日)	8.3		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	日本大学、日大三島高校、三島北小学校、三島北中学校、徳倉小学校、裾野西小学校、富岡第一小学校、富岡中学校、富岡第二小学校、須山小学校、須山中学校			
	病院	大橋医院			
	商業施設	ベルシティ			
	その他	裾野市役所、裾野市富岡支所、裾野市須山支所、裾野警察署、帝人アカデミー富士（宿泊研修施設）			
収支率 (%) (収益/費用)	47.5		乗車人員 (人)	105,837	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停8	名称	拠点：JR三島駅、JR裾野駅 バス停：東出入口、萩芙蓉台、三菱前、佐野、御宿、東名裾野、今里、須山		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	37.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。(ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・市HPに路線バス時刻表のリンクを掲載 				



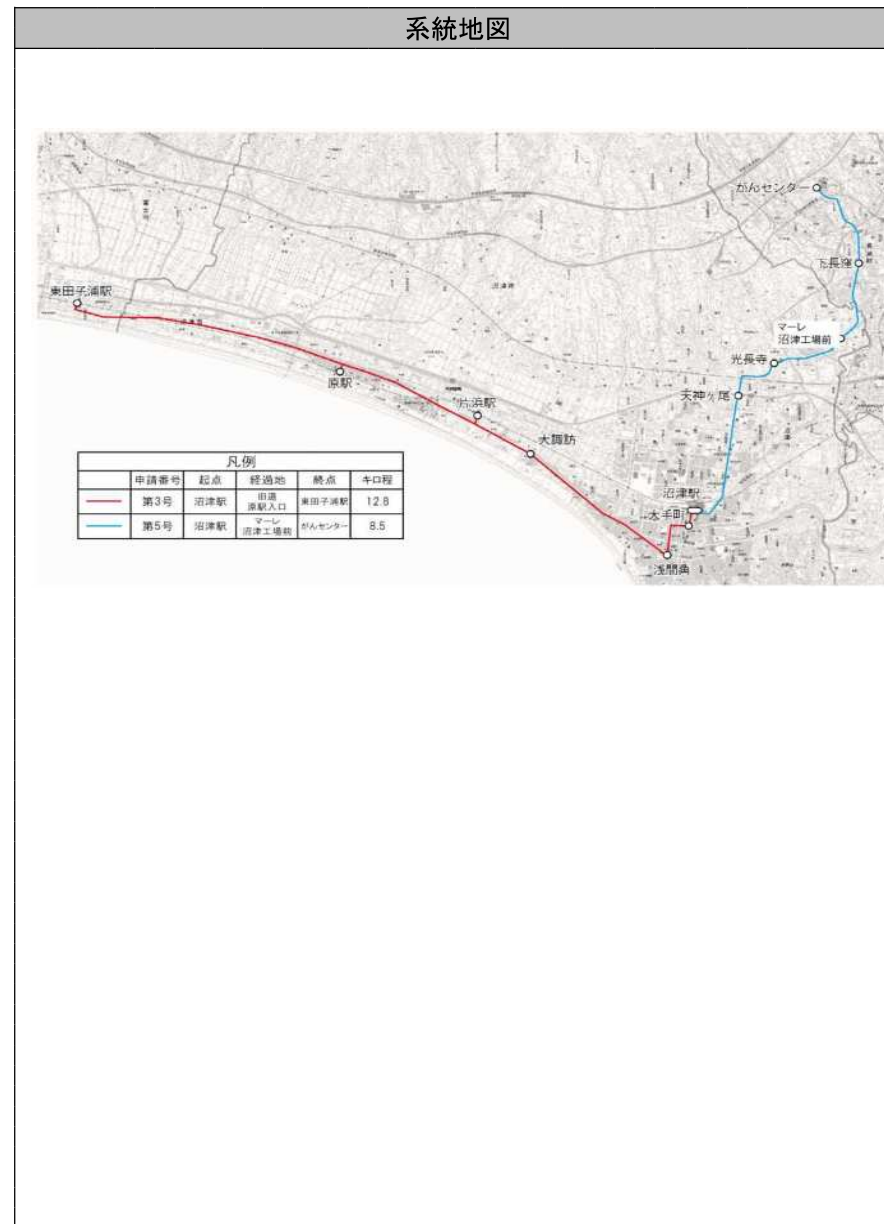
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	原線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	沼津駅	旧道 原駅入口	東田子浦駅		
系統キロ程（km）	13.5	輸送量（人/日）	31.9		
平均乗車密度（人/便）	4.5	運行回数（回/日）	7.1		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	原小学校、原中学校、沼津西高校、第二中学校			
	病院				
	商業施設	西友松長店、カインズホーム沼津店			
	その他	JR沼津駅、JR片浜駅、JR原駅、JR東田子浦駅、保健センター、原警察署			
収支率（%） （収益/費用）	59.3		乗車人員（人）	92,576	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停2	名称	拠点：JR沼津駅、JR東田子浦駅、JR片浜駅、JR原駅 バス停：大手町、大諏訪		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	6.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。（ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap） 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 ・転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布 ・沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 ・沿線付近の小中学校においてバスの乗り方教室を実施 ・学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 ・利便増進実施計画を策定し、令和4年4月1日から幹線である原線を軸とした路線の再編を行い、地域内フィーダー系統であるらぼーと・原団地・原駅線、片浜・柳沢線に乗り継ぐ場合の乗継割引を実施 ・「富士市バスなび」の配布 				



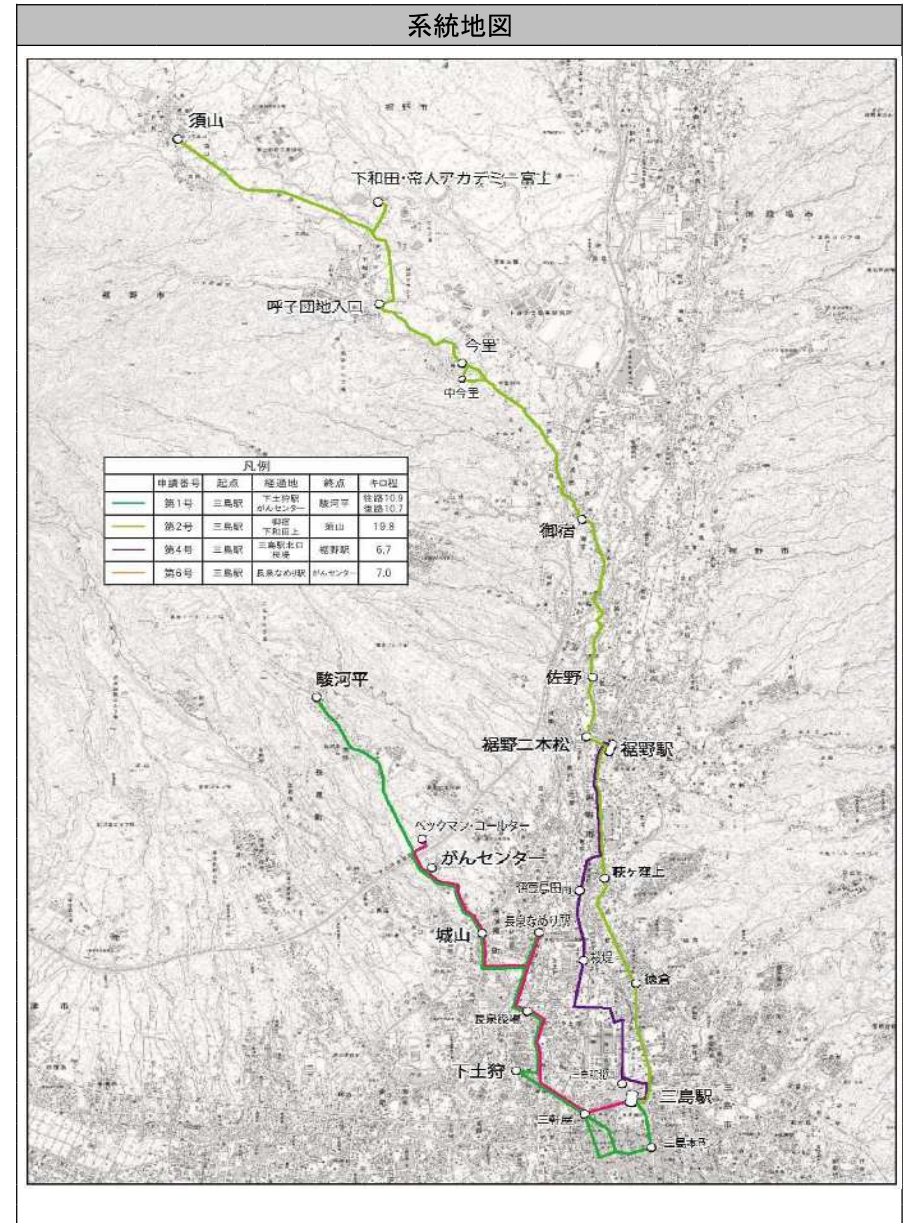
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	がんセンター線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	沼津駅	北小林	がんセンター		
系統キロ程 (km)	8.5	輸送量 (人/日)	26.4		
平均乗車密度 (人/便)	5.4	運行回数 (回/日)	4.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	沼津中央高校、沼津市立高校、加藤学園高校、飛騨高校、県立沼津城北高校、沼津技術専門学校（沼津テクノカレッジ）、第五小学校、第五中学校、金岡中学校、加藤学園研秀初等学校、門池小学校、門池中学校、沼津視覚特別支援学校、沼津聴覚特別支援学校			
	病院	沼津健康福祉プラザ/沼津夜間救急医療センター（サンウェルぬまづ）、静岡県立がんセンター			
	商業施設	フードストアあおき（スーパーマーケット）			
	その他	JR沼津駅、沼津税務署、法務局沼津支局、沼津年金事務所、沼津商工会議所、マーレエレクトリックジャパン（大手事業所）			
収支率 (%) (収益/費用)	81.4		乗車人員 (人)	41,452	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停4	名称	拠点：JR沼津駅 バス停：加藤学園入口、宮下、下長窪、がんセンター		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	31.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。(ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点検等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 ・転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布 ・沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 ・沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施 ・学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る 				



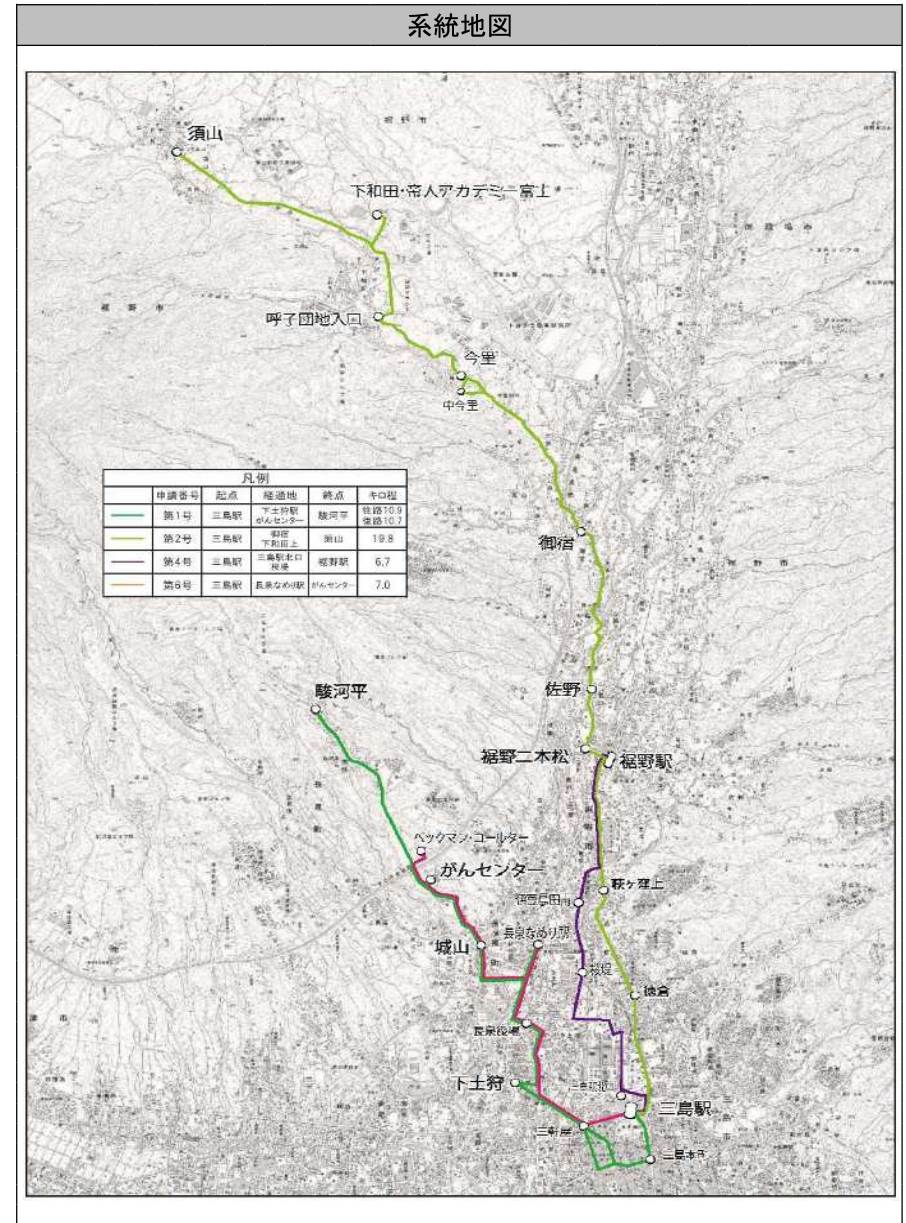
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	がんセンター線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	三島駅	長泉なめり駅	がんセンター		
系統キロ程 (km)	7.0	輸送量 (人/日)	58.5		
平均乗車密度 (人/便)	4.8	運行回数 (回/日)	12.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	長泉北小学校、長泉小学校、長泉中学校			
	病院	静岡県立がんセンター			
	商業施設	ウェルティ長泉（ショッピングセンター）			
	その他	JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道箱小路駅、長泉町役場、長泉健康公園（ウェルピア長泉）、三島市民会館、長泉町文化会館、バックマン・コルター、ファルマー・ハレーセンター（大手事業所）			
収支率 (%) (収益/費用)	88.0		乗車人員 (人)	69,267	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停2	名称	拠点：JR三島駅、JR下土狩駅、JR長泉なめり駅 バス停：長泉役場、下長窪		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	59.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。(ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・市HPに路線バス時刻表のリンクを掲載 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る 				



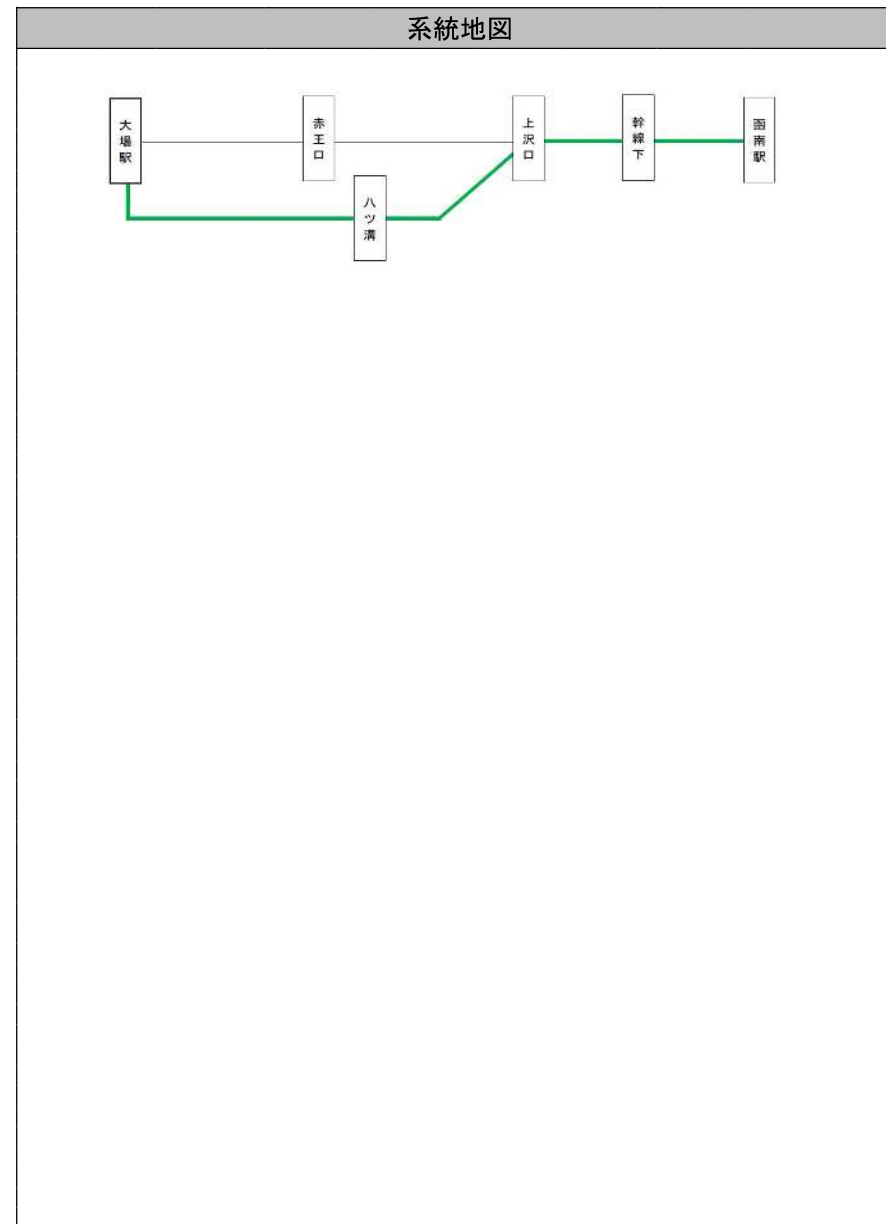
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	桜堤線			事業者名	富士急シティバス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	三島駅	三島駅北口 桜堤	裾野駅		
系統キロ程 (km)	6.7	輸送量 (人/日)	54.9		
平均乗車密度 (人/便)	4.5	運行回数 (回/日)	12.2		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	日本大学、日本大学三島高校、三島北高校、長陵高校、裾野南小学校			
	病院				
	商業施設	フレスポ長泉、しずてつストア長泉店、ノジマ長泉店、マックスバリュ長泉中土狩店、コープしずおか桜堤店			
	その他	ハローワーク三島、簡易裁判所、勤労体育センター、裾野警察署、裾野市役所、J R東海総合研修センター、東し、東し総合研修センター、三菱アルミニウム、米山梅吉記念館			
収支率 (%) (収益/費用)	68.8		乗車人員 (人)	76,148	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停1	名称	拠点：J R三島駅、J R三島駅（北口）、J R裾野駅 バス停：三菱前		
広域利用状況 (%) (他市町へ行く利用者の割合)	93.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をPR 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応。(ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施 4) 小学生の長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）に合わせた特別運賃導入を導入 5) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る 				



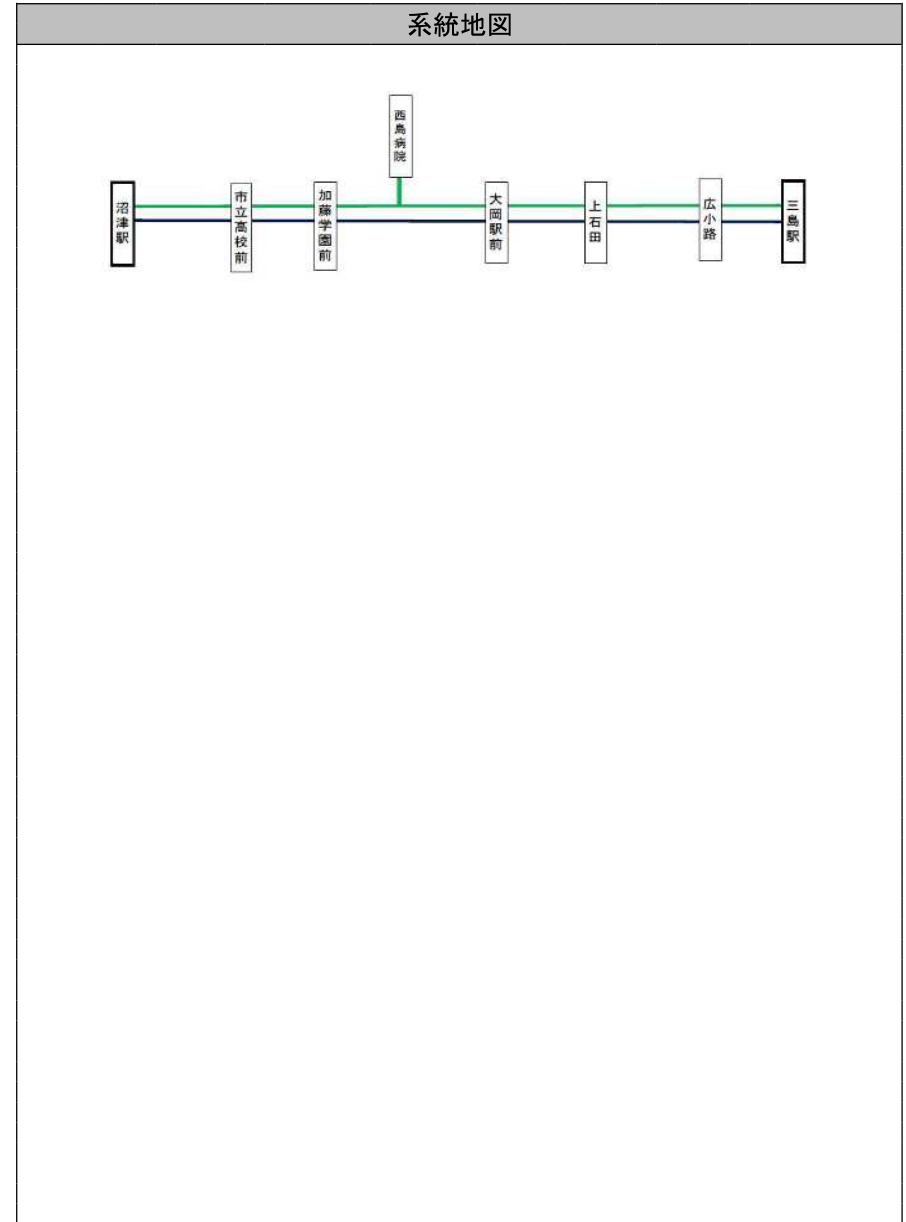
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	大場函南線		事業者名	伊豆箱根バス
路線の状況	起点	経由地	終点	
	大場駅	ハツ溝	函南駅	
系統キロ程（km）	4.1	輸送量（人/日）	15.9	
平均乗車密度（人/便）	1.5	運行回数（回/日）	10.6	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	函南中学校		
	病院	井出歯科医院、宇野眼科、函南耳鼻咽喉科、整形外科函南クリニック		
	商業施設			
	その他	大場駅、函南駅、函南町文化センター、函南町立図書館、函南町ふれあいセンター、上沢公民館		
収支率（%） （収益/費用）	40.8	乗車人員（人）	20,030	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停3	名称	拠点：伊豆箱根鉄道大場駅、JR函南駅 バス停：ハツ溝、大竹口、上沢口	
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	56.2			
増収策	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信 • ICカード利用促進（バス乗り方教室等で実体験） • GTFS-JPデータの整備 			
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> • 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 • アイドリングストップ強化 • 有償・無償に係わらず事故の削減強化 • タイヤ数の縮小にともなう減車 			
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者へのバス等助成券の交付 • 運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 • 公共施設での時刻表の配架 • 公共交通マップの配布 • 三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 • 町内バスマップの配布 • 福祉タクシー券を高齢者や障がい者に対し配布 • 函南町文化センターで乗り換え可能な拠点循環バスの停留所を新設 • 沿線地区住民との意見交換会を実施 			



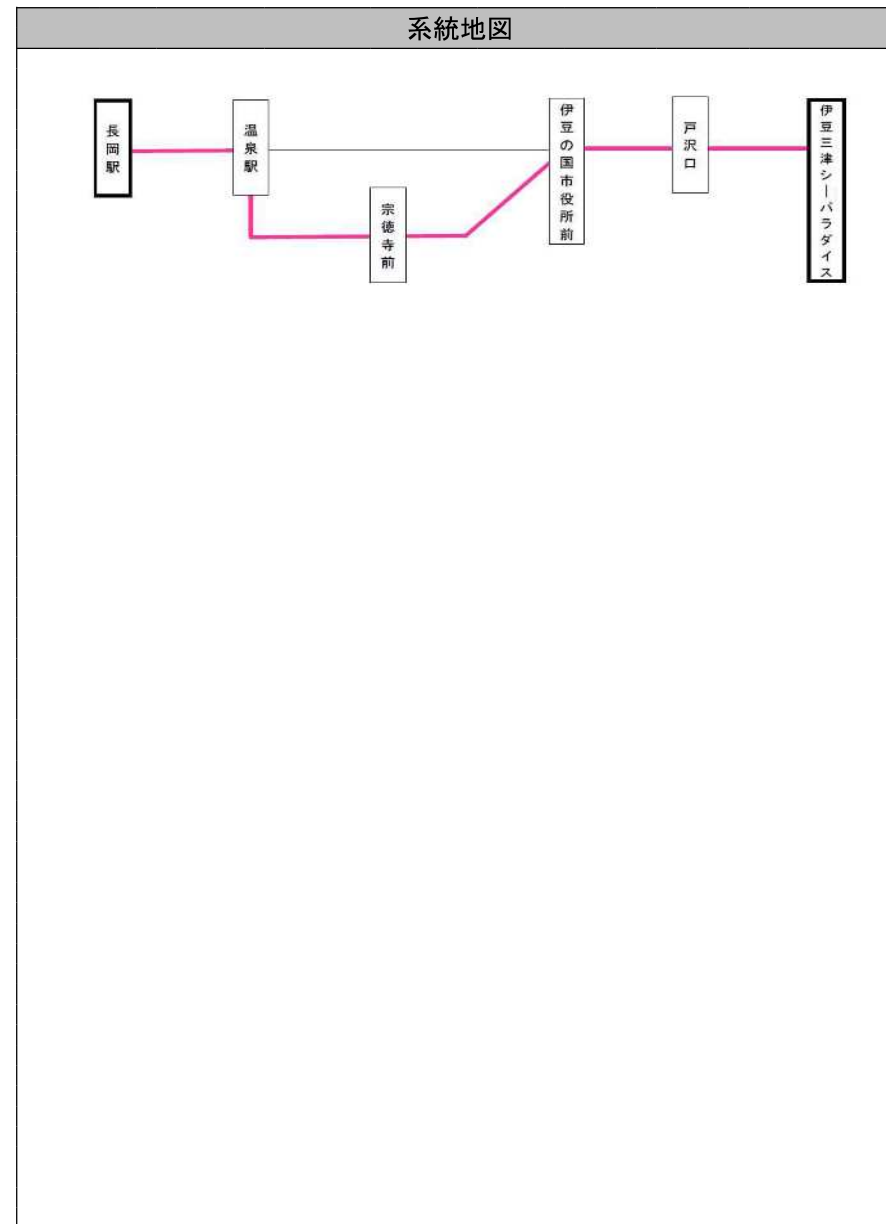
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	沼津大岡三島線			事業者名	伊豆箱根バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	沼津駅	市立高校前 上石田	三島駅		
系統キロ程（km）	7.6	輸送量（人/日）	135.6		
平均乗車密度（人/便）	6.0	運行回数（回/日）	22.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	沼津中央高校、沼津市立高校、加藤学園高校、加藤学園初等学校、大岡中学校、知徳高校			
	病院	西島病院、池田病院			
	商業施設				
	その他	プラザヴェルデ、沼津商工会議所、サンウェル沼津、三島市民文化会館、三島商工会議所			
収支率（%） （収益/費用）	102.2		乗車人員（人）	250,038	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停3	名称	拠点：J R沼津駅、J R大岡駅、三島広小路駅、J R三島駅 バス停：加藤学園入口、大岡駅前、本町		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	57.6				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信 • ICカード利用促進（バス乗り方教室等で実体験） • GTFS-JPデータの整備 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> • 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 • アイドリングストップ強化 • 有償・無償に係わらず事故の削減強化 • タイヤ数の縮小にともなう減車 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> • バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 • 転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を配布 • 沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 • 沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施 • 学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 • 高齢者へのバス等助成券の交付 • 運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 • 公共施設での時刻表の配架 • 公共交通マップの配布 • 三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 • 時刻表の配布や広報による情報発信、各種イベントにおいて公共交通ブースを出展 				



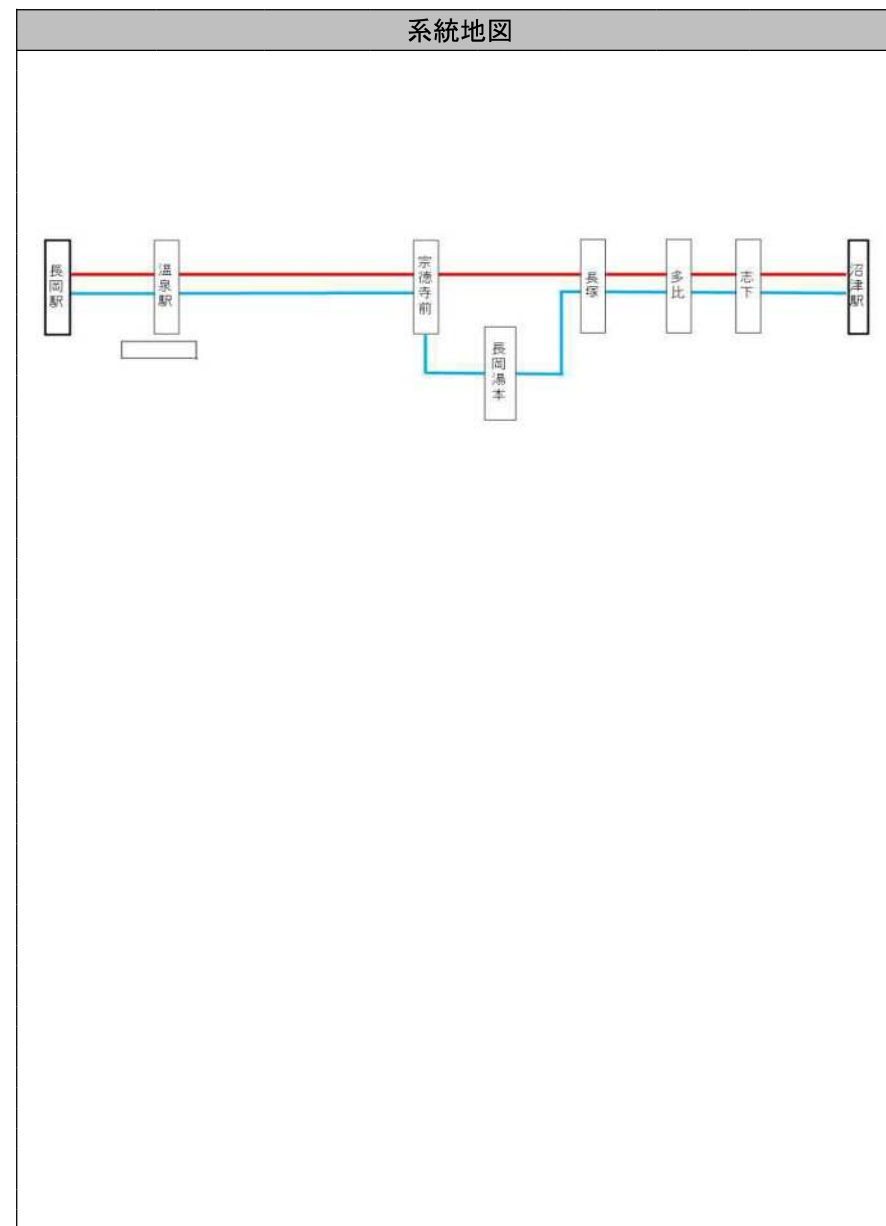
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	長岡伊豆三津シーパラダイス線			事業者名	伊豆箱根バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	長岡駅	温泉駅 宗徳寺	伊豆三津シーパラダイス		
系統キロ程（km）	7.7	輸送量（人/日）	76.1		
平均乗車密度（人/便）	4.4	運行回数（回/日）	17.3		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	長岡南小学校			
	病院	順天堂大学病院			
	商業施設	マックスバリュ長岡店			
	その他	伊豆の国市役所、長岡総合会館、内浦地区センター			
収支率（%） （収益/費用）	78.8		乗車人員（人）	122,972	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停5	名称	拠点：伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅 バス停：温泉駅、長岡総合会館前、宗徳寺前、三津郵便局、伊豆三津シーパラダイス		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	31.5				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信 • ICカード利用促進（バス乗り方教室等で実体験） • GTFS-JPデータの整備 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> • 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 • アイドリングストップ強化 • 有償・無償に係わらず事故の削減強化 • タイヤ数の縮小にともなう減車 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> • バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 • 転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を配布 • 沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 • 沿線付近の小中学校においてバスの乗り方教室を実施 • 学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 • 福祉タクシー等利用助成券を高齢者等に交付 • 市内の全バス路線図や時刻表等を記載した「くらしの公共交通まるごとマップ」を伊豆長岡駅などに配架 • 市の将来の公共交通の在り方を市民に問い掛ける記事を市の広報紙に定期的に掲載 				



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	沼津静岡長岡線			事業者名	伊豆箱根バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	沼津駅	長塚 温泉湯本	長岡駅		
系統キロ程（km）	16.0	輸送量（人/日）	149.4		
平均乗車密度（人/便）	6.2	運行回数（回/日）	24.1		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静浦小中一貫校、沼津第四小学校、沼津第三小学校、長岡中学校、長岡南小学校			
	病院	順天堂大学静岡病院、長岡リハビリテーション病院、慈広会記念病院、瀬尾記念病院			
	商業施設	マミー沼津三園店、ジョイランド香貫、ジャンボエンチョー沼津店、マックスバリュ伊豆長岡店			
	その他	沼津市役所・沼津市民文化センター・沼津総合体育館・沼津簡易裁判所・志下公会堂・静浦地区センター・江の浦中央公民館・多比公民館・長岡総合会館・沼津御用部			
収支率（%） （収益/費用）	89.4		乗車人員（人）	389,320	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停3	名称	拠点：JR沼津駅、伊豆箱根鉄道伊豆長岡駅 バス停：大手町、口野口、温泉駅		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	17.1				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信 • ICカード利用促進（バス乗り方教室等で実体験） • GTFS-JPデータの整備 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> • 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 • アイドリングストップ強化 • 有償・無償に係わらず事故の削減強化 • タイヤ数の縮小にともなう減車 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> • バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 • 転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を配布 • 沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 • 沿線付近の小中学校においてバスの乗り方教室を実施 • 学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 • 福祉タクシー等利用助成券を高齢者等に交付 • 市内の全バス路線図や時刻表等を記載した「くらしの公共交通まるごとマップ」を伊豆長岡駅などに配架 • 市の将来の公共交通の在り方を市民に問い掛ける記事を市の広報紙に定期的に掲載 				



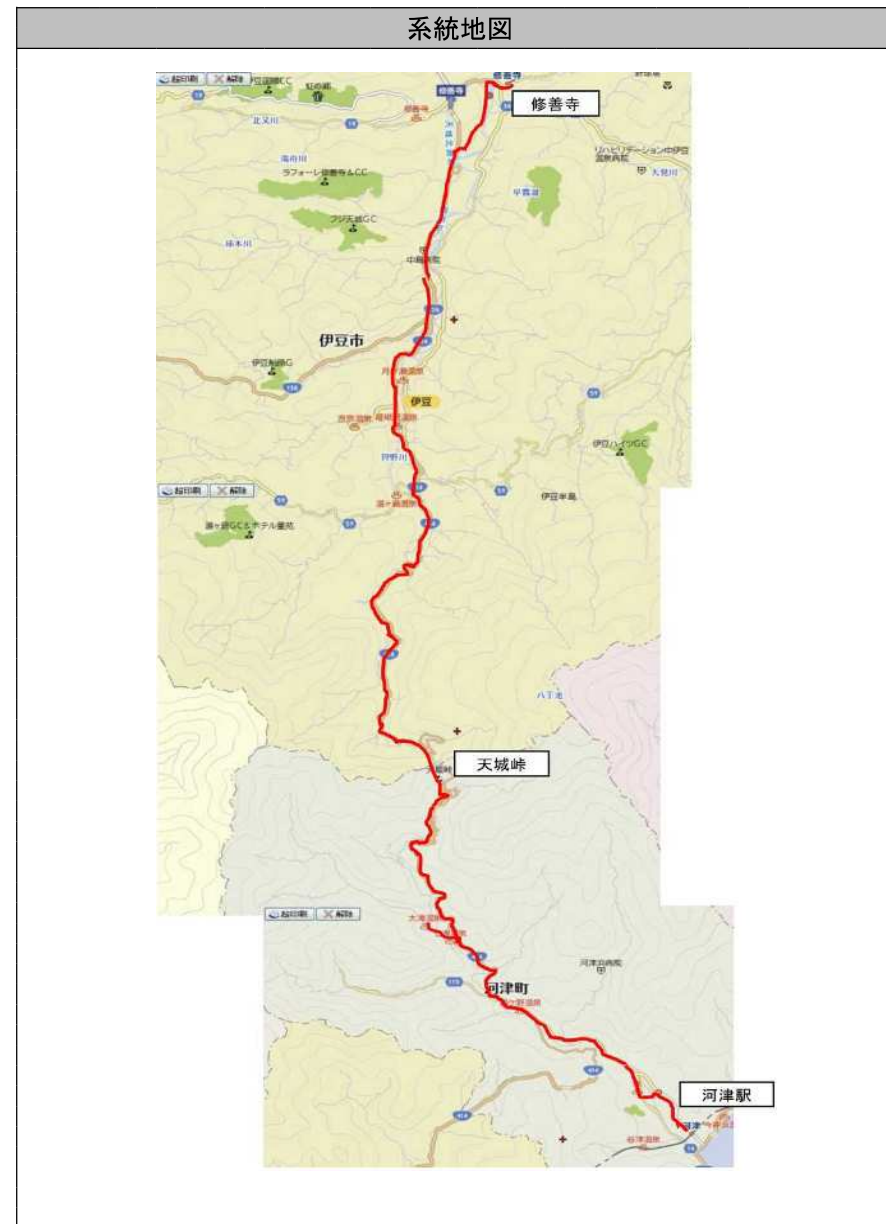
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	石廊崎線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	下田駅	休暇村	石廊崎 オーシャンパーク		
系統キロ程（km）	22.4	輸送量（人/日）	48.0		
平均乗車密度（人/便）	3.2	運行回数（回/日）	15.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	下田高校、南伊豆東中学校、朝日小学校、南伊豆東小学校			
	病院	下田メディカルセンター、伊豆下田診療所、みなとクリニック			
	商業施設	下田とうきゅう、マックスバリュ下田銀座店、フードストアあおき広岡店			
	その他	伊豆急行伊豆急下田駅、下田市役所			
収支率（%） （収益/費用）	48.5		乗車人員（人）	93,752	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：1 バス停：5	名称	拠点：伊豆急行伊豆急下田駅 バス停：広岡、下田メディカルセンター、吉佐美、日野、石廊崎港口		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	59.1				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の通学定期補助の実施 ・ 交通事業者と連携し、市回覧で時刻表の配布 ・ 下田駅でのデジタルサイネージによる時刻表案内の実施 ・ 交通事業者と連携した、利用促進策の実施 ・ 燃料高騰にかかる補助金を支出 ・ 小、中、高校生の通学補助の実施 ・ 高齢者の通院時のバス利用料金補助 ・ 観光チラシ等に交通手段としてバス情報を掲載 ・ 観光施設にバス情報を掲示 				



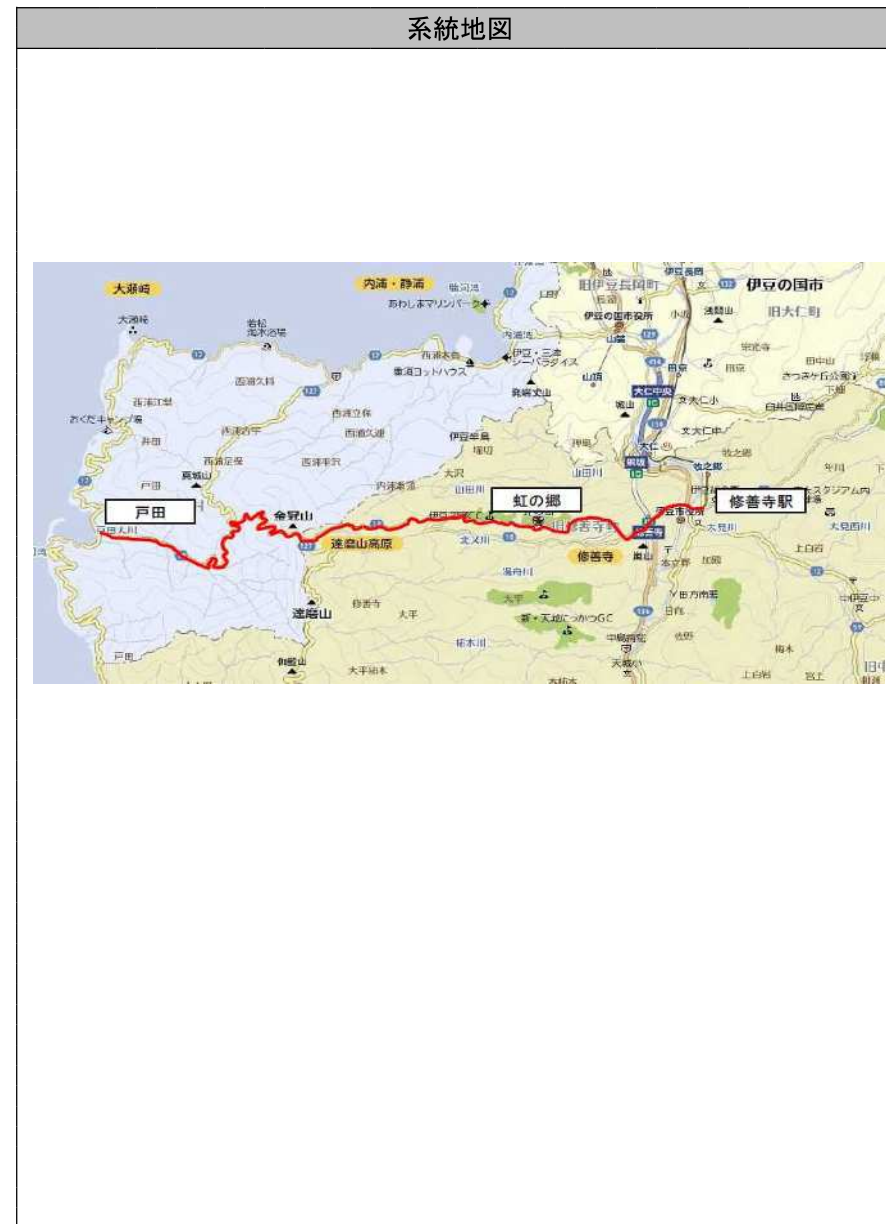
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	天城峠線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	天城峠	河津駅		
系統キロ程（km）	41.4	輸送量（人/日）	38.0		
平均乗車密度（人/便）	3.8	運行回数（回/日）	10.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	伊豆総合高校、天城中学校、天城小学校、河津西小学校、河津中学校、河津南小学校			
	病院	伊豆赤十字病院、中島病院、伊豆慶友病院			
	商業施設	マックスバリュ修善寺駅前店、フードストアあおき河津店			
	その他	伊豆市役所、伊豆市天城湯ヶ島支所、河津町役場、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆急行河津駅			
収支率（%） （収益/費用）	49.2		乗車人員（人）	128,466	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：2 バス停：11	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆急行河津駅 バス停：修善寺駅口、修善寺温泉入口、柿木橋、天城小学校、出口、四品温泉口、弘道寺入口、湯ヶ島温泉口、二階滝、峰温泉		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	40.4				
増収策	1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 修善寺駅、河津駅等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。				
費用削減策	1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生のバス通学費全額補助 高校生のバス通学費補助事業 高齢者路線バス割引乗車証（いきいきバス）の販売及び購入費の補助 福祉タクシー等（鉄道・バス含む）利用の助成 バス待ち環境整備事業の補助 時刻表の配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置 こども園等においてバスの乗り方教室を実施 地域住民との意見交換会を実施 時刻表の全戸配布 町内の小学校でバスの乗り方教室を実施 				



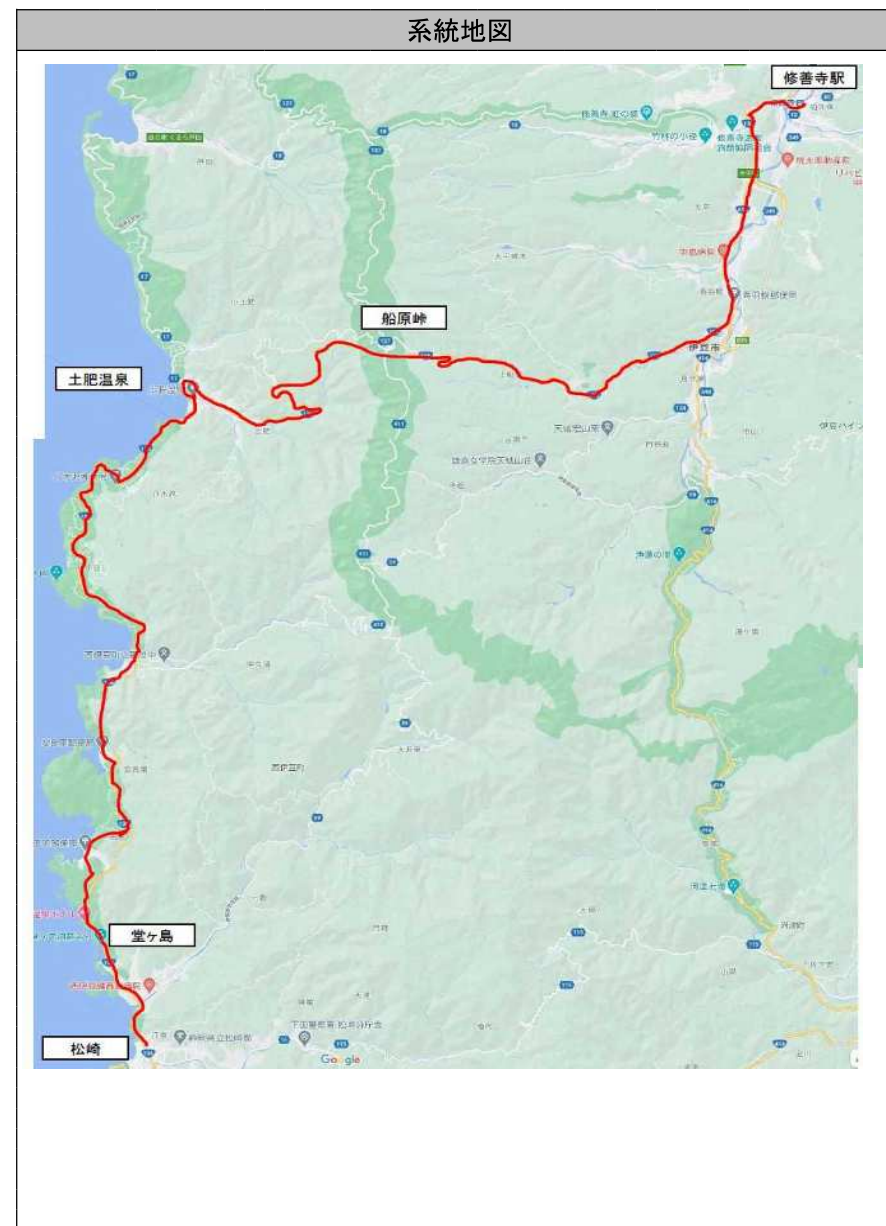
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	戸田線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	虹の郷	戸田		
系統キロ程（km）	25.1	輸送量（人/日）	26.6		
平均乗車密度（人/便）	3.8	運行回数（回/日）	7.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校			
	病院	伊豆赤十字病院			
	商業施設	マックスバリュ修善寺駅前店			
	その他	伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くるら戸田			
収支率（%） （収益/費用）	51.5	乗車人員（人）	46,262		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：1 バス停：5	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅 バス停：修善寺駅口、修善寺温泉入口、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	41.1				
増収策	1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 修善寺駅、くるら戸田等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。				
費用削減策	1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> バス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を各地区センターのほか、沼津、戸田、伊豆それぞれの観光案内所に配架 転入手続きの際に転入者にバス路線図（沼津市公共交通deおでかけマップ）を配布 小中学生のバス通学費全額補助 高校生のバス通学費補助事業 高齢者路線バス割引乗車証（いきいきバス）の販売及び購入費の補助 福祉タクシー等（鉄道・バス含む）利用の助成 バス待ち環境整備事業の補助 時刻表の配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置 こども園等においてバスの乗り方教室を実施 地域住民との意見交換会を実施 				



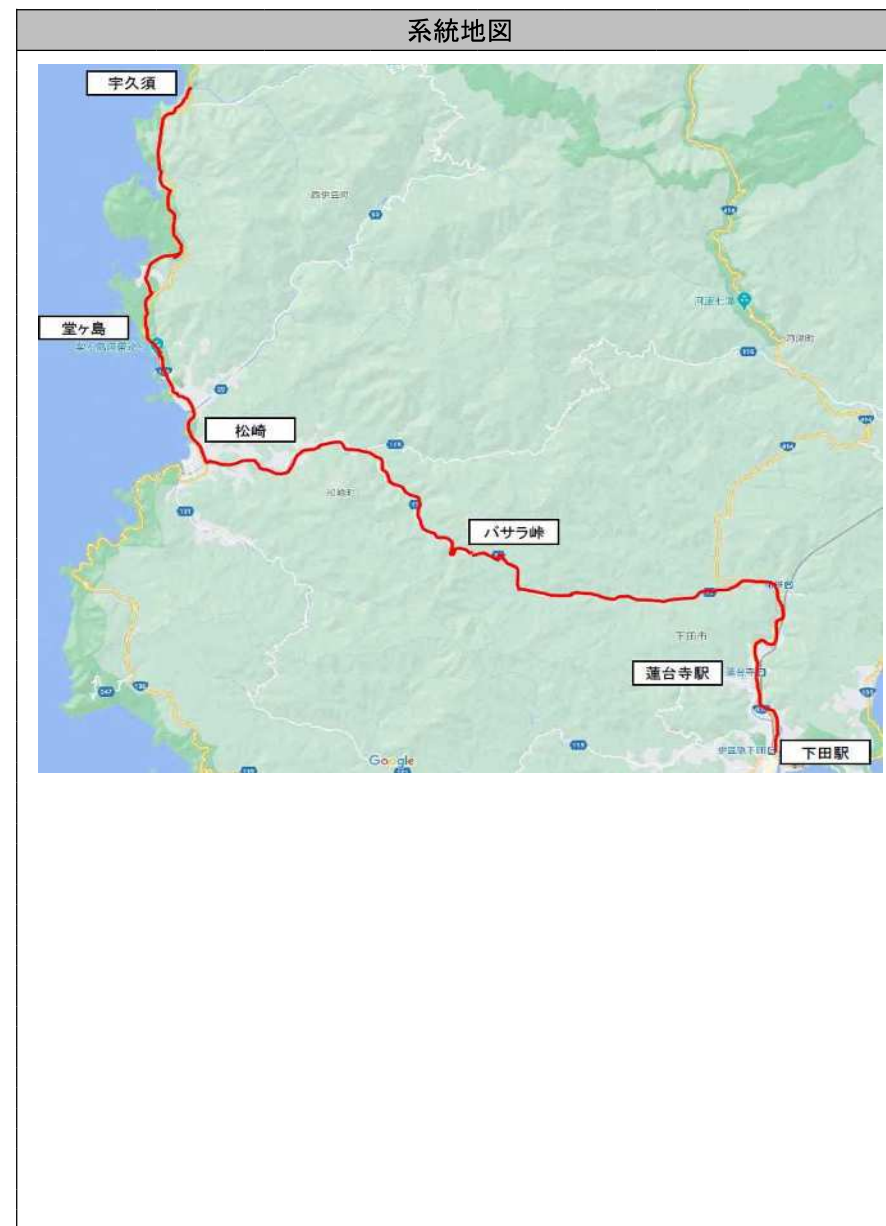
令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	西海岸線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	土肥温泉	松崎		
系統キロ程（km）	54.4	輸送量（人/日）	54.4		
平均乗車密度（人/便）	4.0	運行回数（回/日）	13.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	伊豆総合高校、伊豆総合高校土肥分校、松崎高校、天城小学校、土肥小中一貫校、西伊豆中学校、賀茂小学校、松崎小学校			
	病院	伊豆赤十字病院、中島医院、西伊豆病院、石田病院			
	商業施設	マックスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ヶ島店、マックスバリュエクスプレス土肥店、フードストアあおき西伊豆店			
	その他	伊豆市役所、伊豆市役所土肥支所、西伊豆町役場、松崎町役場、伊豆箱根鉄道線修善寺駅			
収支率（%） （収益/費用）	45.9		乗車人員（人）	117,633	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：2 バス停：7	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅、松崎 バス停：修善寺駅口、修善寺温泉入口、畑入口、柿木橋、出口、宇久須、浜橋		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	66.6				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下修善寺駅、土肥港フェリーターミナル、堂ヶ島、松崎等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生のバス通学費全額補助 ・ 高校生のバス通学費補助事業 ・ 高齢者路線バス割引乗車証（いきいきバス）の販売及び購入費の補助 ・ 福祉タクシー等（鉄道・バス含む）利用の助成 ・ バス待ち環境整備事業の補助 ・ 時刻表の配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置 ・ こども園等においてバスの乗り方教室を実施 ・ 地域住民との意見交換会を実施 ・ 時刻表の全戸配布、バス券の配布 ・ 高齢者、障害者向けバス利用券の配布 				



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	バサラ峠線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	下田駅	バサラ峠	堂ヶ島		
系統キロ程（km）	30.6	輸送量（人/日）	44.6		
平均乗車密度（人/便）	3.6	運行回数（回/日）	12.4		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	下田高校、松崎高校、稲生沢中学校、稲梓中学校、松崎中学校、稲生沢小学校、稲梓小学校、松崎小学校、仁科小学校			
	病院	菊池医院、石田医院、西伊豆病院			
	商業施設	下田とうきょう、マックスバリュ伊豆下田店、マックスバリュ松崎店、フードストアあおき西伊豆店			
	その他	下田市役所、松崎町役場、西伊豆町役場、下田合同庁舎、下田警察署、伊豆急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅			
収支率（%） （収益/費用）	48.6		乗車人員（人）	76,272	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：4 バス停：5	名称	拠点：伊豆急行線下田駅、伊豆急行線蓮台寺駅、伊豆急行線稲梓駅、松崎 バス停：中の瀬、大沢温泉口、松崎小学校、浜橋、堂ヶ島		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	54.2				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下田駅、松崎、堂ヶ島等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の通学定期補助の実施 ・ 交通事業者と連携し、市回覧で時刻表の配布 ・ 下田駅でのデジタルサイネージによる時刻表案内の実施 ・ 交通事業者と連携した、利用促進策の実施 ・ 燃料高騰にかかる補助金を支出 ・ 時刻表の全戸配布、バス券の配布 ・ 高齢者、障害者向けバス利用券の配布 				



令和5年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	バサラ峠線			事業者名	東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	下田駅	バサラ峠	宇久須		
系統キロ程（km）	40.1	輸送量（人/日）	26.2		
平均乗車密度（人/便）	6.9	運行回数（回/日）	3.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	下田高校、松崎高校、稲生沢中学校、稲梓中学校、松崎中学校、稲生沢小学校、稲梓小学校、松崎小学校、仁科小学校、仁科中学校、賀茂小学校			
	病院	菊池医院、石田医院、西伊豆病院			
	商業施設	下田とうきょう、マックスバリュ伊豆下田店、マックスバリュ松崎店、フードストアあおき西伊豆店			
	その他	下田市役所、松崎町役場、西伊豆町役場、下田合同庁舎、下田警察署、伊豆急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅			
収支率（%） （収益/費用）	92.8		乗車人員（人）	67,488	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：4 バス停：5	名称	拠点：伊豆急行線下田駅、伊豆急行線蓮台寺駅、伊豆急行線稲梓駅、松崎バス停：中の瀬、大沢温泉口、松崎小学校、浜橋、宇久須		
広域利用状況（%） （他市町へ行く利用者の割合）	75.0				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引き続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5. バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5年度賃金（人件費）についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の通学定期補助の実施 ・ 交通事業者と連携し、市回覧で時刻表の配布 ・ 下田駅でのデジタルサイネージによる時刻表案内の実施 ・ 交通事業者と連携した、利用促進策の実施 ・ 燃料高騰にかかる補助金を支出 ・ 時刻表の全戸配布、バス券の配布 ・ 高齢者、障害者向けバス利用券の配布 				

